

町制施行65周年記念

五 城 目 町

65年のあゆみ



ごじょうめ



五城目町長

渡 邊 彦 兵 衛

65周年を祝して

五城目町は、本年、町制施行65周年という歴史の流れにおける節目の年を迎えました。

本町は、昭和30年3月31日、旧五城目町、馬場目村、富津内村、内川村、大川村の1町4村の合併により新生五城目町が誕生しました。豊かな自然に恵まれ、先人が守り続け、受け継いでこられた歴史と伝統、多様な産業や文化のもと着実な発展を遂げてまいりました。今日まで、幾多の困難を乗り越えながら、わが郷土を築きあげてこられました先達並びに諸先輩方をはじめ、町民の皆様の英知とたゆまぬ努力に、心から敬意を表する次第であります。

今や急速に進む人口減少や少子高齢化の進展など、誰もが経験したことのない厳しい社会情勢の中ではありますが、本町の魅力を最大限に生かしながら、次世代に誇れる住みよいまちづくりを目指すため、町民の皆様とともに一層の努力を傾注してまいりたいと存じます。

このたび、町制施行65周年を記念して、本町のこれまでの「あゆみ」を振り返る記念誌を発行いたしました。本誌が五城目町の過去と現在を結び、そして、輝かしい未来をつなぎ、更なる発展の一助になることを願っております。

結びに、町民の皆様並びに関係各位におかれましては、常日ごろ町政の推進に深いご理解とご協力を賜り心から感謝と御礼を申し上げますとともに、この65周年の節目を契機に更なる五城目町の発展、飛躍に向けて、一層のご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、ごあいさついたします。

町の10年間を振り返る

平成23年 (2011)

朝市通りに五城目朝市ふれあい館が完成し、地域の活気を生む施設として活用されています。

また、当町の郷土料理「だまご鍋」が第26回国民文化祭全国ご当地鍋フェスタで準グランプリを獲得し、全国に当町をPRすることができました。



3月11日、東日本大震災が発生。町では、直接的な被害はなかったものの、岩手県大槌町を訪れていた町民36人が被災。同町で避難場所などの提供を受け、2日後、全員無事に帰町しました



朝市通りに五城目朝市ふれあい館がオープン。入り口にはだまごマンファミリーの石像を設置



町米消費拡大地域活動推進委員会のだまご鍋が、全国鍋フェスタで準グランプリ獲得

平成24年 (2012)

10月30日に「第15回全国農業担い手サミットinあきた」へのご出席と県内事情ご視察のため来県されておりました皇太子殿下が、当町にご来町されました。

初めて県内全市町村が参加した「あきたふるさと手作りCM大賞」で当町のCMは2年連続3回目の最優秀賞を受賞しました。



初めて当町を訪れた皇太子殿下を沿道や町役場前で多くの町民が出迎えました



馬場目小全校児童14人が出演したCMが東北6県で年間365回放映されました

平成25年 (2013)

1月からの大雪に始まり、春先は寒い日が続く農作業の遅れがあり、大雨や台風の影響で住宅や道路など広範囲に被害をもたらした1年でした。

また、138年の歴史を刻んだ馬場目小が閉校し、その校舎を活用して起業やコミュニティ活動などを支援する「町地域活性化支援センター」がオープンしました。

閉校した馬場目小の校舎を活用した町地域活性化支援センターには、令和2年10月末には19の企業や大学・学術機関が入居しています



町の観光PRキャラクターにだまご鍋をイメージした「だまごちゃん」が誕生



馬場目小学校は最後の卒業生4人を送り出し、138年の歴史に幕を閉じました

平成26年(2014)

国民文化祭「全国朝市サミット2014in五城目」を秋の朝市きのこまつりと合わせて開催し、全国15の朝市物産展、浅利香津代さんの基調講演や協賛イベントを開催しました。

また、地域住民の熱意と県や周辺町村の支援により、湖東厚生病院が明るく開放的な建物で開院しました。



みんなが存続と新築を願っていた湖東総合病院が名称を湖東厚生病院に改め、森山の麓に開院しました



五城目一中が第7回全国地産地消給食等メニューコンテストの学校給食・社員食堂部門で文部科学大臣賞を受賞



国民文化祭朝市サミットでは「朝市の魅力の人と心の触れ合いを大切にする」などの共同宣言を採択

平成27年(2015)

町制施行60周年を迎え、記念事業として「NHKのど自慢」を開催し、全国に本町の元氣と魅力を発信しました。水中歩行用プールを備えた屋内温水プールの大規模改修が完成。町の新たな消防防災の活動拠点となる新消防庁舎が完成しました。

地域に根ざし、地域に愛された大川小は138年の歴史に幕を下ろしました。



小嵐橋など3橋と大台トンネルを整備し、急カーブや幅員の狭さを解消した国道285号中津又道路が開通



応募464組から選ばれた20組が出演したNHKのど自慢では、ゲストの原田悠里さんと氷川きよしさんとともに自慢ののどを全国に披露



秋田県市町村未来づくり協働プログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修で屋内温水プールが完成。水泳のほかに水中運動も可能に



大川小学校が閉校し、五城目小学校に統合され、本町では小学校が1校になりました



富津内下山内国道285号沿いに町消防本部庁舎と訓練棟などが完成し、老朽化していた田町の庁舎から移転し業務を開始

平成28年 (2016)

町内外から多くの来場者が訪れる「ごじょうめ朝市plus+」を開始しました。

またお互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープンし、「秋田県市町村未来づくり協働プロジェクト」などにより、元気な地域づくりを推進しました。



520年の朝市の歴史をそのままに、若い世代の出店者や来場者を呼び込む「ごじょうめ朝市plus+」を始めました



町観光協会と町物産協会が合併し、スケールメリットを生かし、地域経済活性化、まちづくりに貢献しようと町観光物産協会がスタート



近所に商店がなくなり、買い物不便になった内川浅見内地区に、お互いさまスーパー「みせっこあさみない」がオープン。運営は浅見内活性化委員会

平成29年 (2017)

「人とまちが響き合うところやすらぐ悠紀の郷五城目」を将来ビジョンとする町総合発展計画の後期基本計画がスタートし、町民それぞれのライフステージに応じた「幸せ」「元気」「安心」が実感できるまちづくりを推進しています。



子育てに関する相談や親子の交流の場として、子育て支援センター「こどもの木」がもりやまこども園に開設

昭和34年に創刊した広報ごじょうめが1000号に到達。

引き続き、町民の皆さんと行政とのよりよい関係を築こうと発行していきます



五城目第一中学校が創立70周年を迎え記念行事を開催。全校生徒による合唱や元祖爆笑王先輩が記念講演を行ったほか、自衛隊音楽隊によるコンサートを開催

平成30年 (2018)

全国各地で地震や台風による大規模な災害が多発しました。本町でも5月・8月の相次ぐ豪雨で甚大な被害に見舞われ、自然災害の猛威にさらされた1年でした。

五城目小新校舎は、充実した教育環境を目指し、広域五城目体育館や町民センターに隣接するエリアに建設することが決まりました。



県道秋田八郎潟線町村バイパスが開通。住宅が密集する町村町内の狭い道路幅と急カーブなどを解消



きやどっこまつり2018ではラッパーの羅漢さん、ダンサーのKO-TANGさん、マジシャンのミスター北さん町出身者が出演

平成31年・令和元年 (2019)

天皇陛下が即位し、元号が「令和」に改まったこの年は、千代田区との姉妹提携30周年記念式典を行い、両自治体がますます発展し、より一層友好が深まることを誓い合いました。

きゃどっこまつりを開催した8月15日は、本町の観測史上最高気温38.1度を記録しました。



千代田区との姉妹提携30周年を迎え記念式典を開催し、30年間の様々な交流を通じ深め合った絆を基礎にさらに発展することを誓い合いました



令和元年初の広報ごじょうめ表紙は五城目小5年生49人が筆と墨で書いた「令和」を披露。新たな時代が幕を開けました



町の観測史上最高気温38.1度となった「きゃどっこまつり2019」では、150人がフラッシュモブで暑い夏を盛り上げました

令和2年 (2020)

新型コロナウイルス感染症が拡大し、予定していた東京2020オリンピック・パラリンピックが延期されました。

9月には秋田県出身初の菅総理大臣が誕生しました。

五城目小新校舎は10月に完成し、年明け1月からの通学に備えています。



雀館運動公園に完成した五城目小学校。メディア棟、学童施設を併設し、間もなく元気な児童の声が響いてきます



新型コロナウイルス感染症が拡大し、全国に緊急事態宣言が発令されるなか、町では町民1人に2枚ずつマスクを配布しました。

五城目町65年のあゆみ

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和30年 (1955)	2・12	五城目町、馬場目村、富津内村、内川村、大川村を廃し、5か町村を合併して「五城目町」を設置することについて知事に申請する廃置分合の議決が終わる。	4・24	<秋田県> 小畑勇二郎氏秋田県知事に就任。
	3・22	昭和30年3月30日から5か町村を廃し、五城目町とする秋田県告示。(秋田県告示第144号、知事・池田徳治)	5・27	第1回全県高校総体を開く。
	3・29	5か町村の廃置分合により、五城目町を設置し、昭和30年3月31日からその効力を生ずる旨の総理府告示。(総理府告示第531号、内閣総理大臣・鳩山一郎)	8・6	道川海岸で第1回ロケット発射実験成功。
	3・31	新五城目町発足。(面積210.12平方㊦、人口19,761人、世帯数3,285世帯) 町長職務執行者に児玉孫左衛門氏、助役事務取扱者に北島金森氏、収入役事務取扱者に土田蔵太郎氏を選任。	9・1	県内8地方事務所を廃止。同時に福祉、県税、土木、土地改良、林業の各事務所発足。 ※町村合併促進。(28年：224市町村→32年：72市町村) ※空前の大豊作。
	4・1	町社会福祉協議会発足。	<国内外> 1・24 衆議院解散。	
	4・15	初議会召集。初代町議会議長に畠山松太郎氏、副議長に伊藤尚三氏就任。	2・27 第27回衆議院議員選挙執行。	
	4・30	町長選挙執行。初代町長に菊地米蔵氏当選。	3・19 第2次鳩山内閣が成立。	
	5・1	新町建設5か年計画を策定。(総額2億9,800万円)	7・21 「政府に売渡すべき米穀に関する政令」施行。(予約売渡制の実施)	
	5・22	西野火災。住家、非住家8棟が全焼。	11・13 日本社会党統一。	
	5・29	初代助役に北島金森氏、小林源四郎氏を選任。初代収入役に土田蔵太郎氏を選任。	11・15 自由民主党結成。	
	6・24	旧町村と新五城目町との会計事務引き継ぎが完了。	12・29 地方財政再建促進特別措置法公布施行。	
	6・25	明治36年来の大洪水発生。(被害総額1億5千万円)		
	7・23	昭和30年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,755円)		
	7・25	昭和30年度当初予算決定。(一般会計1億2,308万9千円)		
	8・26	五城目中学校と富津内中学校西教場の統合決定。		
	9・10	町民生委員協議会発足。		
	10・10	町消防長に北島金森氏就任。消防本部を役場に設置。		
	10・25	国勢調査実施。(人口19,700人、世帯数3,279世帯)		
	11・3	第1回総合産業祭を五城目小学校で開催。		
	11・15	内川学校林問題解決。		
12・24	町青少年問題協議会発足。			
12・26	大川本村火災。住家、非住家15棟が全焼。			
12・27	五城目中、富津内中統合校舎敷地が広ヶ野に決定。 ※五城目営林署がガソリン機関車で運材開始。 ※保温折中苗代が普及しはじめる。			



合併問題を話し合う面湯村議会（昭和30年3月）



昭和30年代の水下漁

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和31年 (1956)	1・13	町国民健康保険運営協議会発足。		<秋田県>
	2・22	館町公営住宅20棟が完成。	4	県総合振興5か年計画を策定。
	3・12	昭和31年度当初予算決定。(一般会計9,902万5,814円)	5・16	県地方財政再建特別措置法の適用を決定。
	3・21	町議会議員選挙(小選挙区)、教育委員選挙執行。		<国内外>
	3・30	湖東4か町村伝染病隔離病舎完成。(湖東病院に併設)	1・30	新市町村建設基本方針決定。
	3・31	五城目農業共済組合統合発足。	7・8	第4回参議院議員選挙執行。
	4・1	国民健康保険事業を実施。 大川警察官駐在所を開所。	9・1	地方自治法改正。
	4・4	第2代町議会議長に加賀谷力司氏就任。	12・18	日本が国際連合に加盟。
	4・7	第2代町議会副議長に猿田忠三郎氏就任。	12・23	石橋内閣が成立。
	5・18	杉沢小学校独立校舎開校。		
	5・30	町家畜管理所、食肉処理加工所が杉ヶ崎に竣工。		
	6・20	昭和31年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,470円)		
	8・7	台風9号の被害が2,700万円を越す。		
	9・26	旧町村の農業委員会を統合。		
	9・30	野田、岡本、浦横町3集落の編入合併を議決。		
	10・1	首長の任命による地方委員会発足。		
	10・10	五城目、杉沢間バス路線開通。		
11・13	五城目町5地区消防団の統合を議決。			
12・10	馬場目高瀬橋が竣工。			
12・13	五城目統合中学校建設工事施工を議決。 各地区の財産区廃止を議決。			
昭和32年 (1957)	2・5	砂沢の古窯跡が県史跡に指定。		<秋田県>
	3・30	地方財政再建特別措置法の適用団体に指定。(赤字額4,300万円)	5・1	八郎潟干拓事務所発足。
	4・1	五城目小学校へ野田、岡本、浦横町地区児童114人が転校する。	8・18	秋田県庁が屋根修理の失火により焼失。
	4・10	五城目統合中学校第1期工事に着工。(総工費1,450万円)	12・26	八郎潟干拓漁業補償額16億9千万円で妥結。
	4・14	大川地区で分町賛否投票を実施。		<国内外>
	4・24	町商工会設立総会開催。	2・23	岸内閣が成立。
	5・1	菊地町長病気のため、代理町長に北島金森助役を任命。 町公民館が教育委員会の中に発足。	7・10	労働大臣に石田博英氏、建設大臣に根本龍太郎氏。
	5・5	野田、岡本、浦横町で八郎潟分町の第1回賛否投票実施。	8・20	政府地方公務員の政治活動規制。
	6・5	菊地米蔵町長、病気のため辞任。 野田、岡本、浦横町の3集落で八郎潟町からの分町住民投票実施。選挙は無効となる。 農村集団電話制度実施。	10・1	自然公園法施行。
			12・14	水道法施行。
		12・23	100円硬貨発行。 ※金融引き締め、後半なべ底景気。	



分町賛成・反対を訴える大川地区のデモ(昭和32年3月)



昭和32年2月、県史跡に指定された砂沢古窯跡

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和32年 (1957)	6・18	町長選挙執行。第2代町長に加賀谷力司氏当選。		 <p>大川地区で行われた分町賛否投票 (昭和32年4月14日)</p>
	6・28	前町長の菊地米蔵氏逝去。		
	6・29	第3代町議会議長に畠山松太郎氏、副議長に猿田忠三郎氏就任。		
	7・12	昭和32年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,745円)		
	7・16	農業委員会選挙執行。		
	7・29	昭和32年度当初予算決定。(一般会計1億1,545万6千円)		
	10・12	五城目と八郎潟の分町争いで32人の学童の学籍がなくなる。		
	11・3	第1回秋田県森山登山競技会を実施。 森山に希望の塔が建てられる。		
	12・9	秋田相互銀行五城目支店が新築移転。 ※この年、八郎潟干拓事業が開始される。		
	昭和33年 (1958)	3・3	五城目町、馬場目村、富津内村、内川村の町内4森林組合が合併し、五城目森林組合が発足する。	
3・21		面潟地区の一部で住民投票執行。八郎潟町からの分町が決定する。	7・16	全県31か所に農業改良普及所を設置。
3・28		上水道布設を議決する。	8・20	八郎潟干拓起工式。
3・29		昭和33年度当初予算決定。(一般会計1億1,264万8,140円)	9・8	海底油田掘削装置白竜号進水。
3・31		各地区の財産区を廃止する。	12・17	秋田県臨海工業地帯造成起工式。
4・1		五城目町に面潟地区の野田、岡本、浦横町、小立花、宮花が編入合併。	<国内外> 4・5	地方税法改正。(軽自動車税)
5・29		県知事から木工振興モデル地区の指定を受ける。	5・22	第28回衆議院議員選挙執行。
6・10		役場に電話交換台を設置。	6・22	第2次岸内閣が成立。
7・1		五城目中と富津内中(西教場)が統合し、五城目第一中学校が開校。 家畜管理所、食肉処理加工所の事業開始。	12・1	1万円札発行。 ※岩戸景気が始まる。
7・7		昭和33年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,700円)		
8・31		第1回戦没者合同慰霊祭を五城目小学校で行う。		
9・26		五城目地区町議会議員の再選挙執行。		
10・3		第4代町議会議長に猿田忠三郎氏、副議長に小玉太美雄氏就任。		
12・23		杉沢中学校校舎が竣工。		
昭和34年 (1959)	1・1	広報五城目創刊。	4・30	<秋田県> 県知事小畑勇二郎氏が再選。
	1・4	五城目警察署が細越の新庁舎に移転。	11・3	県章、県旗を制定。
	1・7	五城目瀬戸座製「水注」が県重要文化財に指定。(栗山一郎氏蔵)	12・7	県庁舎が現在地に落成移転。
	2・25	三早栽培講習会を開催する。	<国内外> 1・1	メートル法全面实施。
	3・24	昭和34年度当初予算決定。(一般会計1億2,811万7千円)		国民健康保険法を改正。
	3・27	第2代収入役に加藤己之松氏を選任。	4・9	国民年金法を制定。
	3・31	希望ヶ丘公営住宅20棟が完成。	4・10	皇太子さまご結婚。
	4・1	五城目一中が広ヶ野の新校舎に移転。 役場内に中央公民館が開館。	6・2	第5回参議院議員選挙執行。
	4・18	役場庁舎を旧五城目中校舎に移転。	6・18	第3次岸内閣が成立。
	5・1	五城目一中体育館が竣工。		
	5・3	小倉火災。住家、非住家14棟が全半焼。		
	5・5	全町統一祭典を実施。本町部は離脱。		
	6・1	第2代助役に伊藤卓治氏を選任。		
6・4	寺庭町内会集会所が新築落成。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和34年 (1959)	6・4	県道秋田大館線モウ沢地内道路の補修工事に着手。 都市計画事業山手線事業が決定。		
	6・23	町上水道と簡易水道の特別会計を設定。		
	7・10	伊勢湾台風の豪雨による水害発生。(被害農地210.3㍊)		
	7・18	昭和34年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,715円)		
	8・16	全国高校レスリング大会を五一中体育館で開催。三笠宮殿下ご来町。		
	8・29	中央公民館が移転開館。		
	9・6	五城目消防署創設10周年。		
	11・1	国民年金制度実施。(老齢福祉)		
	11・10	第1回全町消防訓練大会を実施。		
	12・20	富津内中校舎が竣工。 ※除草剤を使用した稲作が始まる。 ※地区公民館が中心となり新生活運動が盛んになる。		
昭和35年 (1960)	1・1	馬場目地区の寺庭、中村、杉沢に町営簡易水道が通水。		
	1・15	五城目幼稚園独立園舎が竣工。	2	総合振興4か年計画を策定。
	2・19	森山のスズムシ群生地が県天然記念物に指定。	4・1	秋田放送テレビ本放送を開始。
	3・5	昭和35年度当初予算決定。(一般会計1億2,800万円)	4・17	八郎瀧西部干拓地鍬入式。
	3・10	野田火災。3棟が焼失。 食品衛生協会五城目支部が設立。(小玉正己会長、会員113人)	9・30	県産業会館が竣工。
	3・15	地方財政再建特別措置法の適用団体の指定解除。	10	小野喬氏がローマオリンピック体操個人で金メダル4個獲得。
	3・19	保呂瀬国有林野払い下げ決定。(64町4反2畝、4,800万円)		<国内外>
	3・26	町議会議員選挙執行。(大選挙区制、定員30人)	1・19	新安保条約調印。
	3・31	馬場目、富津内、内川、大川各支所を廃止。	1・24	民主社会党発足。
	4・1	大川出張所を設置。 黒土、小倉地区が富津内西小学校区に編入となる。 指定金融機関制度(金庫制度)実施。(秋田銀行五城目支店) 町政協力員制度を実施。 公民館使用料の徴収開始。	2・23	浩宮さまご誕生。
	4・4	第4代町議会議長に木村喜太郎氏、副議長に佐藤邦彦氏就任。 議員クラブが結成される。	6・1	自治省発足。
	4・10	町上水道事業を創設。	6・23	新安保条約発効。
	4・22	五城目、大川、面瀨地区を新農村地域に指定。	7・19	第1次池田内閣が成立。
	4・25	第1回全町植樹祭を兔品沢で開催。	9・5	池田内閣が所得倍増政策を発表。
	5・3	消防署屋上に気象観測所を設置。 中学校卒業生53人が県外就職。(基本給6,000円、手取り3,600円)	10・12	浅沼稻次郎社会党委員長が刺殺される。
	5・14	中川原町内から分離し館町町内会が誕生。(林崎信一会長)	10・24	衆議院解散。
	5・16	新都市計画街路山手線着工。 五城目一中管理棟が竣工。記念碑を建立。 大相撲が来町。若駒後援会結成。	11・24	第29回衆議院議員選挙執行。 ※岩戸景気続く。
	5・30	上水道起工式。		



昭和35年当時の馬川小学校校舎

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 35年 (1960)	6・10	農業委員選挙区を3区制に、定数は20人となる。 し尿処理事業が清掃事業の事項に追加される。 水防指定町となり水防競技会条例を制定。		
	7・15	農業委員会委員選挙執行。		
	7・26	昭和35年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,755円)		
	7・30	石田労働大臣が来町。		
	8・16	町商工会創立。(高崎字下川原64-4)		
	9・18	第1回全町体育祭を五城目第一中学校グラウンドで開催。		
	9・30	新五城目町章、新五城目町民歌、五城目音頭制定。 新畑町地内の県道舗装工事が完成。		
	9	大川地区バス路線が開通。		
	10・1	国勢調査実施。(人口20,025人、世帯数3,689世帯) 拠出年金制度が始まる。 本町家具を秋田県家具東京見本市に出品。(東京都産業会館、19品)		
	10・31	町商工会が法人認可。		
	11・20	岩野山で奈良時代のマガ玉、ワラビ手太刀などを発掘。 (翌年から2年間発掘調査を実施)		
	11・30	山林野でネズミの被害甚大。ヘリコプターによる空中防除を実施。		
	12・24	森山公民館が竣工。 ※人口造林が進む。五城目町森林組合取扱量が211万4千本となる。		
	昭和 36年 (1961)	1・1	町上水道が通水。(通水戸数500戸) 公用文書の左横書きを実施。	
1・29		NHKのど自慢中央地区予選を五城目小学校で開催。	5・17	
2・25		町長選挙執行。第3代町長に北島金森氏当選。	9・26	
5・8		五城目森岳線県道郡境を現地調査。	10・8	
6・30		昭和36年度当初予算決定。(一般会計1億2,916万9千円)	4・1	
7・11		国民年金協力員制度を設ける。	11・15	
7・20		秋田土木事務所五城目出張所が役場庁舎内に移転。		
7・25		小児マヒ予防に生ワクチン投与を実施。		
7・29		昭和36年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万322円)		
7		消防署に火災専用電話を設置。		
8・28		主婦の一日町長、課長体験を実施。		
9・16		台風第18号(第二室戸台風)が接近。公共施設、建造物、農業関係に大きな被害。(被害額1,312万円)		
9・29		県道、町道1,600mの舗装が完成。		
10・9 ~12		第16回国体レスリング大会を五城目一中体育館で開催。高松宮殿下ご来町。 国体関連行事を開催。(10月5日、国体旗リレーが本町に入る。10月9日~12日、上町荒川マサ氏宅で物産展示会を開催。ブラスバンド、鼓笛隊が町内を行進。10月7日、郷土色豊かな前夜祭を五城目小体育館で開催。民泊も実施し、旅館7軒と民家50世帯に518人が宿泊)		
10		8mm映画町政ニュースを制作。		
11・1		五城目、上小阿仁間のバス運行が開始。		
11・13	馬川小学校給食室が竣工。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
		<p>※農業経営に畜産(養豚、養鶏)導入が叫ばれ、共同化も推進される。</p> <p>※商工関係では、国体を契機に共同で販売推進に力を入れる動きが高まる。</p> <p>※久保、上樋口にリンゴ10畝を新植。</p>		
		 <p>昭和36年当時の旧五城目消防署 (川原町)</p>		
昭和37年 (1962)	<p>1・1 児童扶養手当法が施行。</p> <p>1・10 中央公民館で第1号の公民館結婚式が行われる。</p> <p>1・13 保呂瀬橋が竣工。(五城目営林署施行、470万円)</p> <p>1・25 3歳児健康診査を実施。</p> <p>2・26 農協合併問題研究会が開かれる。</p> <p>インフルエンザが猛威。対策会議が開かれる。</p> <p>3・17 昭和37年度当初予算決定。(一般会計1億3,673万円)</p> <p>4・1 行政苦情相談協力員を設置。(畠山元太郎氏)</p> <p>4・26 第16回国体記念県行造林植樹祭を富津内中津又、蒙谷沢で開催。</p> <p>5・23 第6代町議会議長に佐藤邦彦氏、副議長に分銅瑞惇氏就任。</p> <p>5・29 五城目新生活推進委員会が結成。</p> <p>5・31 町上水道が竣工。(通水戸数1,250戸、総工費5,700万円)</p> <p>6・1 社会福祉協議会に心配事相談所が開設。</p> <p>6・15 ボランティア五城目地区会議が結成。</p> <p>7・1 馬場目保育所を開所。</p> <p>7・7 岩野山古墳群発掘。(～8日)</p> <p>7・9 雀館古代井戸発掘。</p> <p>内川小倉峠の石積み工事が完成。</p> <p>7・10 町道山手線が開通。(延長1,460m、総工費2,280万円)</p> <p>7・16 昭和37年産米政府買入れ価格決定。(石当たり11,405円)</p> <p>7・17 日米高校レスリング大会を五城目一中体育館で開催。</p> <p>7・29 第1回高松宮杯東北高校レスリング大会を五一中体育館で開催。</p> <p>8・17 県成人病予防協会五城目支部が設立。</p> <p>9・11 大川小給食室が竣工。</p> <p>9・16 五城目養老院創立10周年記念式典を開催。</p> <p>11・16 杉沢へき地出張診療所が竣工。</p> <p>12・11 じん茶収集圧縮車を購入。</p> <p>※この年、中津又林道軌条を撤去し廃道とする。</p>	<p>1・8 <秋田県> 第1次秋田県総合開発計画案を公表。</p> <p>4・9 秋田県開発審議会が発足。</p> <p><国内外></p> <p>2・23 日ソ貿易議定書調印。</p> <p>4・23 米国のロケットが月の裏面に到達。</p> <p>7・1 第6回参議院議員選挙執行。</p> <p>7・18 改造池田内閣が成立。</p> <p>8・1 新産業都市建設促進法制定。</p> <p>11・14 日英通商航海条約調印。</p>		
				 <p>昭和37年に発掘された雀館古代井戸</p>

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和38年 (1963)	2・5	雀館古代井戸が県史跡に指定。 岩野山古墳群が県史跡に指定。(4月2日～9日に発掘調査を実施)		<秋田県> 県知事小畑勇二郎氏が3選。
	2・23	馬場目小学校給食室が竣工。	4・17	8・1 老人家庭奉仕員を設置。
	3・1	第7代町議会議長に宮城精市氏就任。	8・1	11・12 八郎潟干拓、干陸排水を開始。
	3・27	昭和38年度当初予算決定。(一般会計1億7,354万円)	11・12	<国内外> 改造池田内閣が成立。
	3・29	久保金屋座の発掘調査を実施。(～30日)	7・18	7・20 中小企業基本法が公布施行。
	4・1	保健婦が常置される。	7・20	10・23 衆議院解散。
	4・17	佐藤邦彦氏が県議会議員に初当選。	10・23	11・9 国鉄鶴見衝突事故。
	4・25	築地町道路の舗装が完成。(延長447m)	11・9	三井三池炭鉱ガス爆発。
	4・26	第3代收入役に館岡斌郎氏を選任。	11・21	第30回衆議院議員選挙執行。
	5・1	県道五城目八郎潟線整備促進期成同盟会が結成。 鳥井森鈴氏の民謡碑を雀館公園に建立。	11・22	ケネディ米大統領暗殺。
	6・7	助役に小林源四郎氏を再任。		
	6・18	病虫害防除対策協議会が結成。		
	6・23	富津内中グラウンドが竣工。		
	7・1	農村成年の実態季節労務者34.3%。(16歳～34歳男女)		
	7・15	農業委員会委員選挙執行。		
	7・17	昭和38年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万2,575円)		
	7・20	社会福祉協議会に善意銀行五城目支店が開設。		
	7・25	葉イモチ病が猛威。(被害面積1,200%、全体の70%)		
	8・26	集団健康診断を実施。(～9月14日、東北大山形内科)43%が高血圧症。		
	9・1	杉沢保育所、富津内保育所を開所。		
9・15	馬場目小が東北北海道学校林コンクールで1位入賞。			
9・26	国土調査開始。(4か年計画)			
10・1	杉沢へき地出張診療所開設。(毎週月・土曜日、午後2時～4時) 浅見内谷地田橋が竣工。 ※冷害で稲作に大きな被害。(30%減収、被害面積470%)			
10・20	「どぶろく」をなくす運動。			
12・7	西野火災発生。住家、非住家3棟が類焼、母子2人焼死。 火葬場を改設。			
12・15	町上水道第1次拡張工事が完成。			
12・25	雀館運動公園第1次拡張工事が完成。			



雀館公園内に建立された鳥井森鈴民謡碑



昭和38年2月、県史跡に指定された岩野山古墳群

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 39年 (1964)	2・19	農業経営の先進地視察。(青年71人、山形・青森)		<秋田県>
	2・22	保呂瀬スノーセットが完成。	4・19	秋田経済大学開学式。
	3・5	昭和39年度当初予算決定。(一般会計1億9,755万1千円)	5・17	男鹿沖地震が発生。
	3・11	県道五城目八郎潟線直線化に着手。	7・14	寒風山に回転展望台を設置。 県鳥が「やまどり」に決定。
	3・26	町議会議員選挙執行。(投票率93.24%)		<国内外>
	4・1	第1次林業構造改善事業の実施地域に指定。 オリンピック記念植樹祭を開催。(五城目一中敷地内に柿、桜8,200本を植樹)	7・17	改造池田内閣が成立。
		町家畜管理所、同食肉処理加工所を廃止。 農業気象観測所を猿田俊藏氏宅に開設。	10・1	東海道新幹線が営業運転。
	4・6	第8代町議会議長に小玉太美雄氏就任。	10・10	オリンピック東京大会開催。
	4・7	町議会副議長に栗山銀之助氏就任。	11・9	第1次佐藤内閣が成立。
	4・24	農業構造改善事業構想策定委員会を開催。	11・17	公明党結成。
	5・27	第1回全町教育振興大会を開催。		
	6・10	町農業青少年育成協議会が誕生。(農業近代化ゼミナール)		
	6・14	第1回全町老人福祉大会を開催。		
	6・15	五城目小建設準備委員会が発足。		
	6・30	久保線改良工事が完成。(延長860m、幅3.6m)		
	7・2	馬場目岳登山を開催。(75人参加)		
	7・9	農業近代化学習院を開く。		
	7・11	昭和39年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万3,880円)		
	7・28	西野矢場崎道路が開通。		
	7・30	町立築地町児童館が竣工開館。		
	7・31	青少年育成強化推進大会を開催。		
	8・1	出稼ぎ相談所を開設。(出稼ぎブーム)		
	8・11	大川小簡易プールが竣工。		
	8・13	集中豪雨が町を襲う。(被害額2億7千万円)		
	9・10	富津内小給食室が竣工。		
10・4	ボーイスカウト秋田第30団が結成。			
10・22	馬場目中学校が学校林東北北海道造林コンクールで農林水産大臣賞を受賞。			
10・29	町塵芥処理場が竣工。			
11・2	第1回五城目町物産展を秋田県民会館で開催。(～17日、出品数1,096点)			
11・12	五城目小創立90周年記念式典を挙行。			
11・17	寄生虫卵検査を15歳以上の全町民に実施。(有卵者49.9%)			
11・30	町内小学校用社会科副読本「わたしたちの五城目町」が発刊。			
12・10	町上水道第2次拡張工事が竣工。 (総工費3,500万円)			
12・15	久保橋が竣工。 (長さ50.6m)			



昭和39年ころの難所割山峠

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 40年 (1965)	2・10	町長選挙執行。第4代町長に小林源四郎氏当選。派閥解消を訴える。		<秋田県>
	3・12	第3代助役に小林寛秀氏を選任。	1・17	第3日曜日を「家庭の日」に。
	3・16	統合小学校の敷地問題から、馬川地区住民が児童の登校拒否を実施。	8・29	この日を「県の記念日」と定める。 (廃藩置県)
	3・21	館越地区でビニールハウスなど新しい営農への取り組みが始まる。	11・1	秋田湾地区を新産業都市に指定。
	3・25	農村地域集団電話が開通。(富津内・内川地区、東北では4番目)	12・31	秋田市電が姿を消す。
	3・27	昭和40年度当初予算決定。(一般会計2億2,177万1千円)		<国内外>
	3・31	町村合併10周年記念式典を挙行。	4・2	日ソ漁業交渉調印式。
	4・1	五城目地区少年保護育成運営委員会が発足。 全町老人クラブ(五老連)が結成。	5・11	山村振興法が制定。
	4・7	平ノ下火災発生。住家5棟、非住家2棟が全焼。	6・3	改造佐藤内閣が成立。
	4・14	大川寺小路火災発生。住家10棟、非住家3棟が被災。	6・22	日韓基本条約に正式調印。
	4・19	全町植樹祭を富津内小嵐山で開催。	7・4	第7回参議院議員選挙執行。
	4・24	社会教育大会を開催。	11・19	政府財政処理で赤字国債発行を決定。
	5・10	真崎堰改修工事の起工式。(総工費1億6千万円)	12・17	日中漁業協定を北京で調印。
	6・20	町農協青年部が設立。		
	6・24	富津内落合火災発生。住家、非住家8棟が全焼。		
	7・22	昭和40年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万5,570円)		
	7・30	杉沢発電所の起工式。(総工費4億8千万円) 森山マイクロウェーブ工事が着工。		
	8・1	高千線のバス運行が開始。		
	8・4	五城目一中プールが竣工。		
	9・10	台風第23号が接近。本町に大きな被害。(被害額7,400万円)		
	10・1	国勢調査実施。(人口18,862人、世帯数3,765世帯)		
	11・6	第1回五城目、上小阿仁間親善駅伝大会を開催。		
	11・7	五城目ロータリークラブの認証式。		
	11・17	富津内西小学校少年赤十字団を結成。		
	11・20	古川町道路舗装が完成。(延長213㍎)		
	12・15	高崎火災発生。住家、非住家4棟が被災。		
12・23	五城目養護老人ホームを設置。(養老院からの変更)			
12・25	町立雀館児童館が竣工。			
				
				昭和40年代の市日
				
				昭和40年代の雀館公園さくらまつり
昭和 41年 (1966)	1・17	町立雀館児童館が開館。		<秋田県>
	1・29	町観光協会が発立発足。	2・1	羽越、奥羽本線の複線工事を開始。
	2・1	森山簡易郵便局が開設。	3・20	NHK秋田がカラー放送を開始。
	2・18	五城目統合小学校(五城目小、馬川小)建設を議決。	4・1	全県11か所に広域農業改良普及所を設置。
	2・28	町献血推進協議会が発足。	5・20	八郎潟中央干拓地で初の種まき。
	3・15	馬場目中学校の全国学校林コンクール3年連続入賞を記念し、記念塔を建立。	6・7	男鹿金ヶ崎有料道路が完成。
	3・24	昭和41年度当初予算決定。(一般会計2億9,906万6千円)	10・17	県営萩形ダムが完成。
3・30	五城目能代線が主要地方道に認定。	11・10	八郎潟干拓第1次入植者の研修所が開所。	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 41年 (1966)	3・31	町内5農協が合併し「五城目町農業協同組合」が発足。本所を役場内に置く。	12・6	県営杉沢発電所が送電を開始。
	4・1	富津内東小学校給食室が竣工。 五城目小と馬川小が統合。それぞれ分校舎となる。 町火災予防組合が結成。(北嶋諒一会長)	2・4	全日空機が羽田沖に墜落。133人が死亡。
	4・11	第9代町議会議長に小玉太美雄氏就任。	4・1	メートル法を完全実施。
	4・14	町議会副議長に坂谷市右衛門氏就任。	4・14	日ソ漁業交渉をモスクワで調印。
	4・21	馬川学区住民が「町立学校条例」一部改正と「学校を重要施設に」という条例制定の2件を直接請求。議会で否決される。	6・25	建国記念日を祝日に追加。
	5・7	富田火災発生。住家、非住家27棟が全焼。(損害額3,600万円)	8・1	改造佐藤内閣が成立。
	5・16	高崎、上樋口、湯ノ又に簡易郵便局が開設。	8・20	中国で文化大革命が発生。
	5・21	国道7号八郎瀉バイパスが開通。	12・3	改造佐藤内閣が成立。
	6・1	町行政事務処理改善委員会を組織。窓口事務の改善に着手。	12・27	衆議院解散。
	6・8	第1回歩こう会を開催。		
	6・13	農業委員会の定数を20人から17人に改定。		
	6・30	都市計画街路上町線の工事に着工。常演寺が移転。		
	7・16	臨時議会で、統合小学校を白紙とし、五城目小は単独で山手へ建設、馬川小は従前どおり存置を決定。		
	7・20	昭和41年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万7,340円)		
	10・1	町交通指導隊が発足。		
	11・21	五城目幼稚園を旧五城目小跡地に移転開設。 五城目橋が竣工。		
	12・2	ごみ処理の一部を民間業者に委託する。		
	12・6	県営杉沢発電所が運転を開始。		
	12・25	町立馬場目児童館が竣工。		
	12・27	五城目八郎瀉間県道直線化工事が完成。 ※この秋、八郎瀉地先干拓東部第5工区(大川地先)の干拓が終わる。		
				
				昭和41年3月31日、五城目町農業協同組合が発足
昭和 42年 (1967)	1・6	下山内火災発生。住家1棟が全焼。		<秋田県>
	1・14	湯ノ又火災発生。住家1棟が全焼。	4・30	県知事小畑勇二郎氏が4選。
	2・27	菅江真澄の自筆稿本「玉勝間拾珠抄」が伊藤源一郎氏宅で発見される。	5・5	県立美術館「平野美術館」が開館。
	3・10	昭和42年度当初予算決定。(一般会計3億1,333万2千円)	5・10	県が新産業都市建設の実施計画をまとめる。
	3・25	町表彰条例を制定。	10・21	県立男鹿水族館が完成。
	3・31	五城目小第1期工事で3階1棟12教室が竣工。 館越地区に農業近代化パイロット事業でビニールハウスが完成。		<国内外>
	4・1	五城目小と富津内西小学校が統合。それぞれ分校舎となる。 五城目一中と内川中学校が統合。	1・29	第31回衆議院議員選挙執行。
	6・9	森山にマイクロウェーブ中継所が竣工。	2・17	第2次佐藤内閣が成立
	7・24	内川小給食室とプールが竣工。	8・1	道交法改正で反則金制度を設定。
	7・26	昭和42年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万8,980円)	11・25	改造佐藤内閣が成立。
	7・29	馬場目小プールが竣工。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 42年 (1967)	8・8	馬場目沢国有林火災発生。杉などが焼失。(損害額1,000万円)		 <p>森山の麓に建つ五城目小学校</p>
	9・1	浦横町簡易郵便局が開設。		
	11・2	町農協第1回農業祭が開催。		
	11・3	第1次石崎遺跡発掘調査を実施。(～11日)		
	11・10	町功労者 渡辺彦兵衛氏(自治、産業)、坂谷八十治氏(自治、産業)		
	11・15	第1回青年議会が開催。		
	12・10	消防署に消防無線電話を設置。		
	12・27	小倉碎石場を開設。		
昭和 43年 (1968)	3・1	町立内川児童館が竣工開館。		<p><秋田県></p> <p>2・23 秋田県消防学校が竣工。</p> <p>5・24 「国民の森」が秋田市仁別に開園。</p> <p>6・14 八郎潟干拓の大潟村で58戸の入村式。</p> <p>10・8 県立体育館が完成。</p> <p><国内外></p> <p>5・8 厚生省がイタイイタイ病を公害病と認める。</p> <p>5・13 ベトナム和平公式会談がパリで開催。</p> <p>5・30 消費者保護法を制定。</p> <p>6・15 都市計画法を制定。</p> <p>6・29 小笠原諸島が29年ぶりに日本へ復帰。</p> <p>7・1 交通反則通告制度、郵便番号制が発足。</p> <p>7・7 第8回参議院議員選挙執行。</p> <p>11・30 改造佐藤内閣が成立。</p> <p>12・10 3億円強奪事件が発生。</p>
	3・9	昭和43年度当初予算決定。(一般会計4億4,367万7千円)	2・23	
	3・27	町議会議員選挙執行。(投票率92.82%)	5・24	
	3・31	五城目小第2期工事で2階1棟と管理棟が竣工。	6・14	
	4・1	事務改善伝票会計が発足。 役場の機構改革で27係を16係に。 五城目小分校舎、富津内西小分校舎を廃止し、新校舎に移転。	10・8	
	4・3	第10代町議会議長に工藤孝二氏、副議長に荒川豊治氏就任。	5・8	
	4・29	明治100年記念植樹を実施。	5・13	
	6・1	岩野住宅から岩城町町内会が誕生。	5・30	
	6・2	初の誘致企業、秋田末広繊維工業(株)五城目工場が操業開始。	6・15	
	6・18	商工青年学級が発足。	6・29	
	6・30	第7回全県中学校選抜剣道大会を五城目高体育館で開催。	7・1	
	7・30	第1次農業構造改善事業の実施地域に指定。 町上水道第3次拡張工事が竣工。(通水戸数2,129戸、総工費1,500万円)	7・7	
	8・9	全県消防大会を五城目一中体育館で開催。	11・30	
	8・10	富津内脇乙地区に簡易水道を新設。	12・10	
	8・13	第4代助役に館岡斌郎氏を選任。		
	8・15	第1回新成人のつどい(成人式)を開催。		
	8・20	第4代収入役に若松正氏を選任。		
	8・21	昭和43年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万220円)		
	9・1	「交通安全都市宣言」の町に決定。		
	9・14	高千町内会テレビ聴取共同アンテナが竣工。		
	9・18	畑町老人クラブが「十三騎さん」慰霊碑、詞堂を建立。		
	9・24	湖東病院が移転竣工。(八郎潟町川崎)		
	9・27	交通安全都市を宣言。		
	11・1	母子栄養食品の無料支給が開始。 振興山村農林漁業特別開発事業が開始。		
	11・23	西野町内の町道改良工事が竣工。		
12・14	町功労者 渡辺綱彦氏(自治、文化、産業) 五城目小が新築竣工。 五城目一中増築工事竣工式を実施。			
12・25	消防署が新築移転竣工。 老人ホームが新築移転竣工。(定員50人)			
				 <p>初の誘致企業秋田末広繊維工業(株)五城目工場</p>

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 44年 (1969)	1・18	第13回青年問題研究集会を五城目小学校で開催。		<秋田県>
	1・23	町立養護老人ホーム、町消防庁舎、町立富津内児童館、富津内公民館の合同竣工式を実施。	3・23	八郎瀧干拓工事の完工式を挙げる。
	2・20	町長選挙執行。第5代町長に加賀谷力司氏当選。(投票率88.49%)	8・2	秋田農業大博覧会を開催。
	2・24	五城目電報電話局が竣工。自動ダイヤル化に。	8・25	天皇皇后両陛下が農業博覧会県下ご視察のためご来県。
	3・27	五城目森林組合が発足。(五城目町森林組合へ八郎瀧町森林組合を吸収合併)	10・1	秋田テレビの放送が開始。(UHF)
	3・28	五城目地区、馬場目地区に農集電話が開通。	12・22	秋田県田沢湖スキー場を設置。
	3・30	昭和44年度当初予算決定。(一般会計4億1,505万4千円)		<国内外>
	4・1	五城目一中と馬場目中が統合。「町内用たし運動」を実施。	5・3	東名高速道路が全通。
	5・8	農業近代化ゼミナールが開講。	5・16	自主流通米制度が発足。
	5・11	恋地上部婦人消防隊が結成。	7・20	米宇宙船アポロ11号が月面に到達。
	5・14	町芸術文化協会が発足。	11・22	佐藤、ニクソン会談で沖縄返還を共同声明で発表。
	5・15	五城目神社で番楽競演会を開催。	12・2	衆議院解散。
	6・21	昭和44年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万225円)	12・27	第32回衆議院議員選挙執行。
	7・10	秋田中央交通五城目軌道廃止で「軌道をしのぶ会」を開催。		
	7・28	率浦大学を開講。		
	7・30	富津内、内川にイモチ病航空防除を実施。		
	8・1	五城目「青年音頭」完成。(作詞 三浦清三郎氏、作曲 伊藤義男氏)		
	9・1	町内家庭と役場を結ぶ専用電話「3711電話」を開設。		
	9・11	馬場目小給食室が竣工。		
	9・16	五城目小に軌道電車が寄贈。		
	9・22	富津内東小を富津内小学校に改称。(議決)		
	10・10	体力づくり優良組織町として全国表彰。		
	10・26	第1回町スポーツ少年大会を開催。		
	11・8	全県消防長会議を五城目消防署で開催。		
11・17	第1回青少年健全育成大会を開催。			
11・18	町養護老人ホーム森山荘の庭園が竣工。			
12・19	集落再編成促進条例を制定。下北口、大場、滝ノ下の移転を進める。			
				
				昭和44年に廃止された五城目軌道
昭和 45年 (1970)	1・1	警察署と防犯組合で町内に防犯連絡所を設置。		<秋田県>
	2・10	米の生産調整が始まる。(推進部落座談会を開催)	4・1	出稼ぎ対策室を設置。
	2・16	町総合開発計画を策定。	5・15	新設秋田大学医学部の入学式を挙げる。
	2・28	馬川小本校舎が全焼。(損害額約2,000万円)	8・2	秋田湾地区が国の大規模工業開発地域に。
	2	第1回住民の健康を守る研究協議会が開催。	9・18	田沢湖駒ヶ岳が38年ぶりに噴火。
	3・2	馬川小児童が五城目小で正常授業を開始。	10・25	皇太子ご夫妻がご来県。
	3・20	昭和45年度当初予算決定。(一般会計5億240万9千円)	12・17	男鹿大棧橋有料道路が完成。
		交通指導隊条例を制定。指導隊が制度化。	12・20	県営田沢湖スキー場完工式を開催。
	3・27	財団法人五城目町開発公社が設立認可。		<国内外>
	3・31	町村合併15周年記念式典を挙げる。	1・14	第3次佐藤内閣が成立。
		渡辺彦兵衛氏に名誉町民の称号を与える。(昭和47年9月29日逝去)	3・11	根本龍太郎氏が建設大臣となる。
		町功労者 鳥井忠治氏(自治)、畠山松太郎氏(自治)、猿田忠三郎氏(自治)、笹尾長氏(保健)、宮城精市氏(自治、民生)、鳥井儀助氏(学術文化)、畠山鶴松氏(郷土芸能)	3・14	日本万国博を大阪で開催。
		高千橋が竣工。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 45年 (1970)	4・1	富津内東小を富津内小に改称。 県道秋田森吉間が国道285号線に昇格。 五城目小と馬川小が統合。 ごみ処理方法をポリ袋、標せん方式に改善。 貯蓄運動推進協議会が発足。 広報ごじょうめの発行を毎月1日と15日の2回に。 公民館の機構改正。五城目公民館と分館に改称。	3・31	日航「よど号」ハイジャック事件が発生。
	4・17	ホテル研究会が発足。	4・3	農業者年金基金法が成立。
	4	五城目町外3か町村伝染病隔離病舎を新築。	6・22	日米安保条約固定期限が切れ、自動延長となる。
	6・5	新町火災発生。住家、非住家14棟が全焼。(損害額5,400万円)	12・25	水質汚濁防止法が制定。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律が制定。
	6・20	昭和45年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万380円)		
	7・27	第11代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に畠山豊氏就任。		
	8・6	昭辰橋永久橋が竣工。五城目幼稚園児75人が渡り初め。		
	8・10	富津内小プールが竣工。		
	8・21	五城目小プールとグラウンドが竣工。		
	9・6	五城目小グラウンドが完成し全町体育祭を開催。竣工式とする。		
	9・8	子どもの遊び場開き。(神明社、寺院など5か所)		
	9・19	町商工会創立10周年記念式典を挙げる。		
	10・1	国勢調査実施。(人口17,415人、世帯数3,900世帯)		
	10・9	出稼ぎ互助会制度が発足。		
	10・24	西野橋が竣工。		
	10・31	五城目一中第二体育館が竣工。		
	11・3	町功労者 渡辺道蔵氏(自治)、児玉孫左衛門氏(自治 口耕市郎氏(保健)、大村仙福氏(民生、福祉)		
	11・6	本町で第93回秋田県種苗交換会を開催。(～11日、 参観者37万2千人)		
12・28	社会福祉法人五城目町社会福祉協議会が発足。 ※この年、内川大場、滝ノ下集落が集団移転により 廃村となる。			
				
				完成間もない五城目小学校グラウンドで開催された全町体育祭
				
				第93回秋田県種苗交換会に訪れる人の波
昭和 46年 (1971)	1・1	農業者年金制度が発足。		<秋田県>
	2・1	第5代助役に伊藤卓治氏を選任。	1・16	県青年の家、青年会館の完成落成式。
	3・22	馬場目北ノ又分校の廃校式を行う。	2・19	第26回国民体育大会冬季大会スキー競技会が田沢湖スキー場で開催。
	3・24	昭和46年度当初予算決定。(一般会計5億6,243万円)	4・1	県立中央病院が国へ移管。
	3・31	岩野橋(1、2、3号)が竣工。	4・11	県知事小畑勇二郎氏が5選。
	4・1	五城目幼稚園と富津内西幼稚園が統合。 町公民館馬川分館が誕生。 農業公害をなくすため、BHC剤、DDT剤、有機水銀剤の使用を規制。 「清掃デー」を設定。全町一斉の環境美化を進める。	8・29	立県100年記念式典を挙げる。
	4・14	県議会議員選挙で佐藤邦彦氏が当選。	2・22	<国内外> 新国際空港公団が成田建設予定地の代執行に着手。
	4・20	社会福祉法人五城目町社会福祉協議会の事務局が発足。	6・17	沖縄返還協定に調印。
5・14	昭和46年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万1,205円)	6・27	第9回参議院議員選挙執行。	
		8・15	米国が厳しいドル防衛策を発表。	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 46年 (1971)	6・1	良質米生産集団のほう賞制度を実施。	8・26	ニクソン・ショックにより東京株式市場で大暴落。
	6・9	新町火災発生。7棟が全焼。	12・20	円の切上げを実施。
	6・10	山村振興区画整理事業を着工。 台御蔵下テレビ塔が竣工。		
	6・30	浦横町簡易水道が竣工。		
	7・1	国保保険医が総辞退する。		
	7・8	田町、広ヶ野で「ほたるまつり」を開催。		
	7・15	馬場目川に稚アユを放流。		
	7・30	富津内落合簡易水道が竣工。		
	8・10	第1回「こどもの祭典」を実施。		
	9・7	五城目営林署杉沢森林鉄道が廃止。30年の歴史を閉じる。		
	9・11	町農協大川低温倉庫が竣工。		
	9・13	敬老善行者7人を表彰。(この年から)		
	9・23	馬場目放送局(NHK、民放)がUHFで放送開始。		
	9・30	下樋口生活近代化パイロット総合センターが竣工。		
	9	国道285号落合地区の改良が完成。 五城目森岳間道路の改良が完成。		
	10・1	五城目一中で給食開始。(町内小中学校で100%給食実施)		
	10・15	田んぼでの稲わら焼却が公害問題化。		
10・30	馬場目、富津内、内川でイモチ病や冷害により稲作に大被害。(被害額3億6千万円)			
11・3	鳥井森鈴氏が県文化功労者として表彰。 町功労者 小林源四郎氏(自治)、阿部久之助氏(自治、民生)、分銅瑞惇氏(自治、教育)			
11・15	五城目保育園が設立認可。			
11・19	秋田周辺広域市町村圏促進協議会が発足。			
11	石井金之助氏が現代の名工(卓越した技能者)に。			
				七夕の夜を彩る子どもたち手作りの絵灯ろう
				30年の歴史を閉じる杉沢森林鉄道
昭和 47年 (1972)	2・1	富津内、落合、脇乙、台御蔵下地区基盤整備事業が竣工。(19%)		
	2・13	恋地国設スキー場が開設。 		
		恋地国設スキー場が開設		
	3・10	町文化財保護に関する条例を制定。 町建築協定条例を制定。 町中小企業振興融資斡旋に関する条例を制定。 昭和47年度当初予算決定。(一般会計6億7,397万3千円)		
	3・26	町議会議員選挙執行。(投票率92.7%)		
	3・31	五城目地区農免道路が竣工。(総延長3,500m、総工費5,300万円) 富田橋、岩城橋が竣工。 電報電話局前に公衆便所が完成。		
	4・1	社会福祉法人五城目保育園が開園。 町単独の児童扶養制度が発足。(1歳未満の乳児に医療費を給付)		
	4・10	第12代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に宮田清三郎氏就任。		
				<秋田県> 4・1 県生涯学習推進本部発足。 5・12 県立点字図書館が開館。 7・15 県立野球場、温水プールが落成。 10・2 羽越線秋田新潟間が電化。 11・27 東北縦貫自動車道の本県ルートが決定。
				<国内外> 2・3 札幌第11回冬季五輪を開催。 5・15 沖縄が返還。県としてスタート。 7・7 第1次田中内閣が成立。 9・29 日中国交が正常化。 10・28 中国からパンダが到着。 11・13 衆議院解散。 12・10 第33回衆議院議員選挙執行。 12・22 第2次田中内閣が成立。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 47年 (1972)	5・4	郡境の部分林630㍏植林達成を記念し、「空に青雲、山々緑」の記念碑を建立。除幕式を実施。			
	7・5	豪雨により公共施設や農地に大被害。(被害額2億5千万円)			
	7・15	太平洋県立自然公園が指定。9番目の県立自然公園が誕生。			
	8・1	枝打ち間伐補助事業を開始。			
	8・3	昭和47年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万2,200円)			
	8・4	稲の病害虫航空防除を実施。			
	8・11	五城目小柔剣道場が竣工。			
	8・15	消防署に救急車を配置。救急車による救急業務を開始。			
	9・1	北北口町内に簡易水道が新設、通水。 秋田周辺広域市町村圏が設定。			
	9・14	町職員の定数を改正。(176人→190人) 脇乙生活総合センターを建設。			
	11・3	町功労者 椎名秋一郎氏(自治)、伊藤尚三氏(自治)、小熊広保氏(自治、産業)			
	11・5	第2次石崎遺跡の発掘調査を実施。(～14日)			
	11・23	五城目一中体育館で「ふるさとの歌まつり」を開催。			
	12・22	町商工会館が竣工。 千日火災発生。住家、非住家6棟が全半焼。			
12・31	富津内下北口集落が集団移転により廃村となる。				
					
					
				五城目小学校柔剣道場	
				石崎遺跡の防御用逆茂木	
昭和 48年 (1973)	1・1	70歳以上の医療費無料化を実施。			
	2・19	町長選挙執行。第6代町長に加賀谷力司氏が無投票当選。	5・30	<秋田県> 県立農業短大の開学式。	
	3・24	昭和48年度当初予算決定。(一般会計8億2,370万円) 秋田周辺広域市町村圏協議会が設置。	9・1	秋田市大森山動物園がオープン。 <国内外>	
	3・31	農村地域整備促進対策事業の実施地域に指定。	4・12	祝日法が改正。休日振り替え公布。	
	4・1	第5代收入役に若松正氏を選任。 児童手当の支給制度を実施。 乳幼児(2歳未満)の医療費給付制度を実施。	10・26	日本登山隊がエベレスト登頂に成功。	
	5・10	岩野山保健保全林に秋田県鳥獣保護センターが竣工。常陸宮殿下、同妃殿下を迎え開場。	11・14	関門橋が開通。(1,068㍏)	
	6・1	富津内地区が県単モデルコミュニティ地区に指定。			
	7・29	記録的な日照りが続き干ばつに。(月間降水量6月39㍏、7月73㍏※29日まで11㍏)			
	8・1	町内、集落担当連絡員を設置。			
	8・10	昭和48年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万5,545円)			
	8・11	五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。 五城目小児童野球が全県大会で優勝。			
	8・20	山内番楽ほか9件を町文化財に指定。			
	8・24	広域基幹林道五秋線(台御蔵下～黒川)の起工式を実施。			
	10・17	大瀧村の入植者募集が始まる。 鷲谷たまこさん(大川小6年)が秋田県一の優良健康児に。			
	10・27	第3次石崎遺跡の発掘調査を実施。(～11月15日)			
	11・3	町功労者 石川兼吉氏(民生、青少年)、千田石五郎氏(郷土芸能)、小野文子氏(社会教育)			
	12・15	町都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業が認可。			
	12・18	五城目地区農免道路のバス運行が開始。			
	12・26	職員の特種勤務手当に関する条例を制定。			
	12・29	県立五城目高改築促進協議会が発足。 ※この年、生きがい教育パイロットに指定。			
					
					昭和48年5月10日、鳥獣保護センターが開場

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 49年 (1974)	1・1	町都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業の事業計画を決定。(総事業費1億6千万円、期間～昭和58年3月31日)	1・12	<秋田県> 大関清国が引退表明。
	1・5	県立五城目高校舎改築対策協議会推進委員会が発足。	3・1	鳥海山が153年ぶりに噴火。
	1・19	馬川神社建て替えのため遷宮の儀式が行われる。	6・1	井川町が発足。
	1・26	記録的豪雪で全町交通機関がまひ。町内小中学校が臨時休校となる。		<国内外>
	2・5	記録的な豪雪のため豪雪対策本部を設置。豪雪非常事態防災を宣言。	1・26	天皇皇后両陛下下金婚式。
	2・23	町農業協同組合農協会館が竣工。	3・10	旧日本兵の小野田寛郎さんをルバング島で見つかる。
	3・30	昭和49年度当初予算決定。(一般会計11億1,700万円)	3・15	新関門トンネルが貫通。(18,713米)
	3・31	大川四ツ屋橋、館越橋、帝釈寺橋、門前橋が竣工。 五城目一中第三体育館が竣工。 大川中を廃校。大川幼稚園を廃園。 第2次町総合発展計画を策定。	7・7	第10回参議院議員選挙執行。
	4・1	五城目一中と大川中が統合。 大川保育園が開園。 町部制設置条例を制定施行。(総務部、企画部、民生部、産業部、建設部) 生涯教育モデル地域に指定。 町農業指導センターを設置。	9・1	原子力船「むつ」で放射能漏れ事故が発生。
	4・10	第13代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に齊藤三四郎氏就任。	10・9	佐藤栄作前首相のノーベル平和賞受賞が決定。
	4・21	五城目小同窓会設立総会を開催。	11・11	改造田中内閣が成立。
	5・17	第12回技能五輪全国大会機械製図の部で児玉俊博氏が優勝。	12・9	田中内閣が総辞職。三木内閣が成立。 佐々木義武氏が科学技術庁長官に就任。
	5・19	杉沢中、馬場目小が学校林全国コンクールで準特選に入選。		
	6・20	水槽付き小型ポンプ自動車を購入。		
	6・21	町消防100周年記念総合防災訓練を実施。		
	7・1	高額療養費支給制度が実施。		
	7・9	高齢者を対象にゲートボール講習会を開催。		
	7・16	第1回老人スポーツ大会を開催。		
	7・21	第1回鷹巣、五城目交歓スポーツ大会を開催。		
	7・25	昭和49年産米政府買入れ価格決定。(石当たり3万3,752円)		
	7・26	第1回社会福祉大会を開催。		
	7・29	第3次岩野山古墳群の発掘を実施。(～8月7日)		
	8・2	町上水道第4次拡張工事に着工。(総工費1億7千万円)		
	8・12	昭辰子ども園が開園。		
	8・21	米国からジャン・マンデイルさんが五城目高に留学。		
	8・27	町木材工業総合団地化推進協議会が発足。		
	9・1	福祉バス「森山号」がスタート。		
	10・19	五城目小創立100周年式典を実施。		
	11・1	湖東病院を湖東総合病院に改称。		
	11・3	町功労者 石井金之助氏(産業)		
	11・10	全国青年大会で富津内青年会が演劇優秀賞、馬場目青年会が合唱努力賞を受賞。		
11・12	町開発センター、広城市町村圏五城目体育館の起工式を実施。			
12・16	青色申告の町を宣言。			
12・31	小倉採石場を廃止。			



49年豪雪(古川町付近)



五城目町消防100周年記念総合防災訓練

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 50年 (1975)	1・18	五卓会結成20周年記念木村興治卓球教室を開催。(～19日)		<秋田県> 4・13 県知事小畑勇二郎氏が6選。 5・10 県立博物館が一般公開される。 11・25 奥羽本線の全線電化がスタート。 <国内外> 4・30 ベトナム30年戦争が終結。 6・5 スエズ運河が8年ぶりに再開。 6・6 田中金脈で参院決算委が内閣へ警告決議。 7・19 沖縄海洋博が開幕。
	1・19	町木材工業総合産地化基本構想を設定。	4・13	
	1・27	第6代助役に伊藤卓治氏を選任。	5・10	
	2・25	馬場目小学校創立100周年記念式典を実施。	11・25	
	3・10	特別急行いなほ号の八郎潟駅停車が決まり、出立式を挙行。		
	3・12	一番町商店会が結成。	4・30	
	3・20	昭和50年度当初予算決定。(一般会計17億8千万円)	6・5	
	3・31	中屋敷橋が竣工。 五城目町史を発行。	6・6	
	4・1	一般県営林道湯ノ又線に着工。	7・19	
	7・14	農村総合整備モデル事業を採択。(総事業費10億5千万円)		
	7・15	農業委員会選挙執行。		
	7・22	昭和50年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万1,760円)		
	8・16	大手警察官駐在所が完成。		
	9・1	福祉手当支給制度が創設。(福祉事務所)		
	10・1	国勢調査実施。(人口1万6,582人、世帯数3,955世帯)		
	11・1	磯ノ目地区土地区画整理事業に着手。		
	11・8	町農業協同組合合併設立10周年記念式典が開催。		
	11・23	町躍進20周年記念式典を開催。(合併20周年、町開発センターと秋田周辺広域市町村圏五城目体育館竣工を記念) 名誉町民 坂谷八十治氏、渡辺綱彦氏 町公民館事務室を広域五城目体育館へ移転。		
	12・7	町民センターで結婚式第1号。(伊藤次男さん、時子さん)		
	12・25	町上水道第4次拡張工事が竣工。(給水人口1万2千人、総工費1億6,400万円、1日当たりの給水能力4,800立方メートル) ※町若妻連絡協議会が設立。		
				
		建設中の町民センターと広域五城目体育館		
昭和 51年 (1976)	1・7	湯ノ又地区土地改良工事が竣工。(57.8㌔、総工費1億3,500万円)		<秋田県> 10・27 八郎潟干拓、新農村建設完工式を実施。 <国内外> 5・23 参議院議員補欠選挙執行。 7・27 田中前首相が逮捕。 9・15 改造三木内閣が成立。 石田博英氏が運輸相に就任。 12・5 第34回衆議院議員選挙執行。 12・24 第1次福田内閣が成立。 石田博英氏が労相に就任。
	1・25	町連合青年会設立20周年記念式典を挙行。		
	3・11	昭和51年度当初予算決定。(一般会計18億1千万円)		
	3・25	神明前公営住宅8棟が完成。		
	3・26	町議会議員選挙執行。		
	3・31	富津内地区コミュニティセンターが竣工。		
	4・1	町農業協同組合と各支所を町の収納代理金融機関に指定。		
	4・10	第14代町議会議長に佐々木輝雄氏、副議長に畠山勘五郎氏就任。		
	5・23	富津内小が全国学校林コンクール造林の部で入選。		
	6・1	中核林業振興地域特別対策事業地域に指定。		
	7・15	大川音頭が誕生。		
	7・22	昭和51年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万1,080円)		
	8・3	五城目一中男子バスケットボール部が東北選抜大会で優勝。		
8・7	高千町内会二ノ沢県行造林地内に永久林が設定。			
				
		町民センター結婚式第1号の伊藤さん		
				
		馬場目小学校創立100周年記念式典		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 51年 (1976)	8・16	五城目一中男子バスケットボール部が全国大会で第5位に入賞。		
	9・1	稲の出穂が平年より10日以上遅れ。冷害対策本部を設置。		
	9・10	富津内小学校創立100周年記念式典を実施。		
	9・11	五城目婦人会創立30周年記念式典を実施。		
	9・25	蓬内台生活総合センターが竣工。		
	10・2	川端会館が竣工。(建設 老人が明日の夢を育てる会)		
	10・31	農村総合整備モデル事業高千農村公園新設工事が竣工。(1,777.5平方m)		
	11・2	都市計画公園雀館公園築造工事が着工。		
	11・3	町功労者 阿部徹英氏(自治)、渡辺時治氏(民生、保健)、館岡斌郎氏(自治、産業)、佐藤勝太郎氏(体育)		
	11・13	町、農協、商工会の三団体による統一産業祭「第1回五城目町産業文化祭」を開催。		
11・25	中核林業振興地域に指定。			
12・8	大川小創立100周年記念式典を実施。			
昭和 52年 (1977)	1・25	健康大学の開講式を開催。		
	1・27	豪雪対策本部を設置。		
	2・20	町長選挙執行。第7代町長に加賀谷力司氏が無投票当選。	3・10	県総合庁舎に地方部の新設決定。
	3・23	第6代収入役に千田金之助氏を選任。	3・31	八郎瀧干拓事業が全面完工。
		昭和52年度当初予算決定。(一般会計20億8,800万円)		<国内外>
	3・31	森山森林公園が完成。	7・10	第11回参議院議員選挙執行。
		如来寺が移転改築。	8・10	北海道有珠山が噴火。
	4・1	曙町町内会が誕生。(泉谷一郎会長)	9・3	巨人軍の王選手が756号ホームラン世界新記録。
	5・3	名誉町民の坂谷八十治氏を広域五城目体育館で町葬。	11・28	改造福田内閣が成立。
	5・25	民生委員制度創立50周年記念植樹を森山森林公園で実施。		
	5・31	谷地中高齢者集会室が完成。		
	6・15	新観光秋田30景で森山森林公園が第6位に。		
	6・25	森林組合青年部が成立。		
	6・28	秋田・五城目連絡峰越林道開通竣工式を挙げる。		
	7・7	町生活改善センターが竣工。		
	7・26	岡本2区公民館が完成。		
	7・30	昭和52年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,715円)		
8・6	五城目一中簡易プールが竣工。			
8・19	町民センターの彫刻「森の精」が完成。			
8・22	県立五城目高が大川西野字田屋下へ移転。			
8・30	町農協富津内低温倉庫が竣工。			
9・1	町交通安全母の会連合会が発足。			



新設された県立五城目高等学校

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 52年 (1977)	9・12 9・24 10・16 10・18 10・23 11・3 11・4 11・23 12・10 12・20 12・27	千種光照さん、一重さんが森山頂上で結婚式。 広ヶ野公民館が竣工。 築地町集会所が竣工。 杉沢火災発生。住家、非住家6棟が全焼。 五城目一中創立30周年記念式典を実施。 町功労者 齋藤周作氏(教育、福祉)、加藤裕氏(教育、文化)、伊藤真一郎氏(自治) 馬場目警察官駐在所が新築移転。(馬場目字蓬内台92-7) 工藤政志選手(プロボクシング)の後援会が発会。 浅見内簡易郵便局が開局。 中村地区林業集会所が竣工。 恋地国設スキー場にシュレップリフトが竣工。		 <p>森山山頂で結婚式</p>
昭和 53年 (1978)	1・26 2・13 2・16 2・19 3・10 3・20 3・30 3・31 4・1 4・10 4・22 5・31	杉沢小中学校寄宿舎の入舎式を実施。 名誉町民の渡辺綱彦氏を広域五城目体育館で町葬。 第15代町議会議長に荒川豊治氏就任。 第1回子どもの雪まつりを五城目小グラウンドで開催。 五城目テレビジョン中継放送局が完成。 昭和53年度当初予算決定。(一般会計24億1,700万円) 町寿条例を制定。90歳以上の方々に祝い金を支給。(4月1日施行) 館越地区集会研修所、浦横町地区集会所が竣工。 雀館運動公園運動広場が完成。 坊村橋、高千橋が竣工。 4・1 杉沢中で緑の少年団を結成。 水田利用再編対策事業の実施。(転作実施面積118ha) 田町町内会から分離し上田町町内会が誕生。 4・10 天皇陛下御在位50年を記念し部分林5.7haを植林。 4・22 高千生活総合センターが竣工。 5・31 大川小学校舎改築工事が竣工。	2・1 5・31 10・5 5・20 12・7	<p><秋田県></p> <p>八郎潟新農村建設事業団が580戸の入植を終え、12年半の仕事に終止符。</p> <p>尾去沢鉱山が閉山。</p> <p>皇太子ご夫妻がご来県。</p> <p><国内外></p> <p>成田空港が開港。</p> <p>大平内閣が成立。</p>
		 <p>新校舎が完成し解体される旧大川小学校校舎</p>		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 53年 (1978)	7・14	町農業委員会選挙執行。		 <p>工藤政志選手防衛に成功</p>
	7・19	昭和53年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,940円)		
	7・26	都市計画公園杉ヶ崎墓苑築造工事に着手。		
	8・9	工藤政志選手がジュニアミドル級世界ボクシングチャンピオンに。		
	8・17	五城目一中女子バスケットボール部が全国大会で第5位に入賞。		
	8・26	五城目第一中学校同窓会が結成。		
	9・20	工藤政志選手に町栄誉賞を贈る。		
	10・18	富津内中学校創立20周年記念式典を実施。		
	10・30	大豆乾燥調整センターが竣工。 谷地中第1 集団栽培組合が集落農場ほう賞で優秀賞、農林水産大臣賞、知事賞を受賞。		
	11・3	町功労者 北嶋諒一氏(社会教育、民生)、笹川久一氏(自治、産業)、二木敬治氏(自治、社会教育)、今村久吉郎氏(公衆衛生)		
	11・5	第1回町内対抗駅伝競走大会を開催。		
	11・8	魁新報社から「さきがけ3号」車が寄贈される。		
	12・13	工藤政志チャンピオンが初防衛に成功。		
	12・15	大川小学校プールが竣工。		
	12・20	農業総合整備モデル事業農村環境改善センターが竣工。		
昭和 54年 (1979)	2・1	第7代助役に伊藤卓治氏を選任。		<秋田県>
	3・1	県立五城目高で林業科、定時制の最終卒業生を送る。	4・8	第4代秋田県知事に佐々木喜久治氏当選。
	3・14	工藤政志チャンピオンが2度目の防衛に成功。		
	3・19	昭辰都市下水路築造工事が竣工。	4・25	秋田市金足に水心苑が完成。
	3・20	広ヶ野公営住宅10棟が完成。	4・28	6期24年の小畑勇二郎知事が引退。
	3・23	副議長に分銅良一氏就任。 昭和54年度当初予算決定。(一般会計29億8,300万円)		<国内外>
	3・26	肉用牛生産振興地域に指定。	1・1	米中の外交関係が30年ぶりに成立。
	3・31	第3次五城目町総合開発計画を策定。 林業協業センター赤倉山荘が竣工。(9月11日開館) 北北口簡易水道増設工事が竣工。(給水人口450人、1日当たりの給水能力90立方メートル) 屋内温水プールが竣工。	8・9	人事院が国家公務員の60歳定年制導入を勧告。
	4・2	町内小中学校で陶器による週3回の米飯給食を完全実施。 県議会議員選挙で館岡勲氏が当選。	10・7	第35回衆議院議員選挙執行。
	4・16	新農業構造改善事業地区の指定。	11・8	第2次大平内閣が成立。 佐々木義武氏が通産相に就任。
	5・1	富津内小で緑の少年団を結成。		
	6・1	健康づくり推進員制度を実施。(町内会ごとに健康づくり)		
	6・20	工藤政志チャンピオンが3度目の防衛に成功。 秋田中央交通バスターミナルが開設。		
	7・1	大川出張所が農村環境改善センター内に移転。(大川下樋口字屋敷3-2)		
	7・15	馬場目小、杉沢小、内川小に簡易プールが竣工。		
	7・30	昭和54年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,940円)		
	8・17	五城目一中男子卓球部が全国大会で第5位に入賞。		
	10・12	県立五城目高校舎改築落成記念式典を実施。		
	10・24	工藤政志選手が4度目の防衛ならず世界王座を失う。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和54年 (1979)	10・30	帝釈寺集団栽培組合が集落農場ほう賞で優良賞、知事賞を受賞。		
	11・3	町功労者 福田大太郎氏(自治)、宮田清三郎氏(自治、民生、産業)、猿田俊藏氏(産業)、渡邊彦次郎氏(学芸文化)		
	11・8	五城目地域森林総合整備事業が認定。		
	12・7	太平山県立自然公園内に仙入峡園地が完成。		
	12・19	国道285号秋田峠トンネル、橋改良工事に着工。		
昭和55年 (1980)	1・20	町隣接市町村交歓スポーツ大会を開催。		<p><秋田県></p> <p>県生涯学習センターが完成。</p> <p>県立児童会館、子供博物館が山王にオープン。</p> <p><国内外></p> <p>2・1 政府がモスクワ五輪ボイコットの方針をJOCに伝達。</p> <p>5・19 衆議院解散。</p> <p>6・12 大平首相が急死。</p> <p>6・22 第36回衆議院議員選挙、第12回参議院議員選挙執行。</p> <p>7・17 第1次鈴木内閣が成立。</p> <p>11・26 郵便料金値上げ法案が成立。(封書60円、はがき40円)</p>
	1・22	五城目一中が全日本交通安全協会から表彰。(交通安全教育の寄与)	4・26 4・29	
	2・1	1980年農林業センサス実施。		
	3・6	昭和55年度当初予算決定。(一般会計33億6,700万円)		
	3・19	町議会議員選挙執行。	2・1	
	3・26	希望ヶ丘公営住宅29棟の譲渡処分が建設大臣から認可。農村集団電話一般電話自動化切り替え。	5・19	
	3・27	健康づくり推進協議会が発足。	6・12	
	3・29	秋田地方法務局五城目出張所が移転改築。(上樋口字向川原5-61)	6・22	
	3・31	相撲場が完成。(6月28日開場) 内川保育園が竣工。(総工費8,017万円) 大川多目的集会所が竣工。(事業費2,415万6千円) 大豆処理加工所が竣工。(事業費3,169万2千円)	7・17 11・26	
	4・1	内川保育園を開園。		
	4・7	第16代町議会議長に荒川豊治氏、副議長に伊藤勇蔵氏就任。		
	4・12	雀館運動公園に記念碑「奉仕の碑」が建立。 国際ロータリー第254地区ローターアクト年次大会が開催。		
	4・19	第1回町ぐるみごみ大掃討作戦を実施。		
	5・31	五城目一中野球場建設工事が竣工。		
	8・7	昭和55年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,674円)		
	8・24	五城目一中男子卓球部が全国中学生卓球大会で準優勝		
	8・28	おせど会館が秋田地方法務局五城目出張所移転跡に竣工。		
	9・5	合併25周年記念NHKふるさとの民謡を収録。		
	9・13	稲作異常気象対策本部を設置。 五城目一中の金子美和さんが全県英語暗唱弁論大会で優勝。		
	9・23	総合体育大会制度25周年を記念し、第1回全町水泳大会を開催。		
	10・1	国勢調査実施。(人口1万5,953人、世帯数3,930世帯) 五城目幼稚園創立30周年記念式典を開催。		
	10・11	秋田県最低賃金 1日2,545円、1時間319円		
	11・3	町躍進25周年記念式典を開催。 町功労者 中村清次郎氏(教育)、小林富蔵氏(自治、教育、産業)、石井俊一氏(自治、産業)		
12・19	五城目警察署が新築竣工。(字七倉178-4)			



旧五城目警察署(紀久栄町)
後に中央公民館になる

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和56年 (1981)	1・12	駐日スウェーデン王国大使のベクト・オーデヴァル閣下が来町。	1・26	県総合発展計画案を発表。
	1・18	町PTA研究集会(保育園幼稚園部会、小学校部会、中学校部会)を開催。	6・24	割山の秋田空港を閉鎖。
	2・15	町長選挙執行。第8代町長に加賀谷力司氏当選。	6・26	新秋田空港を開港。
	3・1	日米親善卓球五城目大会を開催。元世界チャンピオンの長谷川選手、伊藤選手が来町。	7・29	第5回全国高校総合文化祭を秋田市で開催。
	3・8	第1回公民館大会を開催。	8・3	長崎宏子選手が女子平泳ぎで日本新。
	3・19	第7代収入役に千田金之助氏を選任。	12・15	新秋田空港が秋田空港に改称。
	3・25	昭和56年度当初予算決定。(一般会計40億4,500万円)	<国内外>	
	3・27	高崎、合地林業集会所が竣工。	4・12	米スペースシャトルが無事帰還。
	4・1	五城目保健所が竣工。(上樋口字向川原3-1)	11・30	改造鈴木内閣が成立。
	4・7	新里町町内会が誕生。(佐々木光雄会長)	12・11	新南極観測船「しらせ」が進水。
	4・29	上高崎、中村、箱越、浦横町林業集会所が竣工。		
	6・21	町役場新庁舎の起工式を実施。		
	7・18	弓道場が竣工。(総工費3,058万円)		
	7・28	第1回五城目町陸上競技選手権大会を開催。		
	8・4	森山山頂に希望の鐘が完成。		
	10・16	昭和55年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,756円)		
	10・29	杉ヶ崎墓苑墓地が完成。(313区画、7,500平方メートル)		
	11・3	秋田県最低賃金 1日2,710円、1時間339円		
	11・5	広域基幹林道五秋線が竣工。(昭和48年から9年間、延長2キロ、総事業費11億3,293万1千円、利用区域森林面積4,923ヘクタール)		
	11・25	町功労者 小玉久治郎氏(民生、福祉)		
12・8	ランニングロードが完成。			
12・9	町農協合併設立15周年農協祭が開催。			
12・10	国道285号秋田峠トンネル、三太橋が開通。郡境の難所を解消。			
	中央線の五城目保健所、馬城橋間846メートルが開通。			
	下山内林業集会所が竣工。			
				
	完成した秋田峠トンネル			
昭和57年 (1982)	3・19	昭和57年度当初予算決定。(一般会計42億3,950万円)		<秋田県>
	4・1	東磯ノ目町内会(三浦清三郎会長)、西磯ノ目町内会(安達悦郎会長)が誕生。	4・9	赤字7億円の湖東総合病院再建計画を厚生連組合で条件付き合意。
	4・24	雀館公園に日本庭園が完成。	<国内外>	
	6・22	第17代町議会議長に荒川豊治氏、副議長に佐々木善蔵氏就任。	2・9	日航機が羽田沖に着陸失敗。
	6・30	地域休養センター恋地山荘が竣工。	2・18	中国残留孤児第1陣が来日。
	7・1	野田、岡本、浦横町地域の呼称を森山地区に統一。	4・2	フォークランド紛争。
		11・27	中曽根内閣が成立。	
				
			雀館公園内に完成した弓道場	
				
			杉ヶ崎墓地築造工事	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 57年 (1982)	7・13	中山遺跡の発掘調査を実施。(～8月20日)			
	7・28	昭和57年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,951円)			
	8・25	町農協カントリーエレベーターが竣工。			
	8	全国大会で五城目一中男子体操部、男子バスケットボール部が準優勝、男子卓球部が決勝リーグ進出。			
	9・2	東北地区公民館大会を開催。東北各地から1,300人が参加。(～3日)			
	9・8	秋田市周辺の市外局番が0188に統一。			
	9・26	大川出張所の廃止が決定。 旧役場庁舎での最終町議会定例会が終了。			
	10・24	町役場庁舎を現在地に移転。			
	11・2	町役場庁舎が新築落成。一般見学者は1万6千人を超える。			
	11・12	五城目番楽(山内、西野、中村)がタイ国ラタナコーシン王朝200年祭に出演。			
	11・16	富津内小嵐山に「みんなの森」を造成。新役場庁舎落成記念として桜100本を植樹。			
	12・10	大川警察官駐在所を新築。(大川字東屋布162-3) ※秋田県最低賃金 1日2,710円、1時間339円			
					
	昭和57年8月29日、矢場崎グラウンド最後の大会となった東北馬力大会。				
昭和 58年 (1983)	1・1	失業対策事業を廃止。			
	2・1	第8代助役に伊藤卓治氏を選任。			
	2・5	五城目なめこ共同殺菌施設が竣工。			
	3・16	昭和58年度当初予算決定。(一般会計35億8,950万円)			
	4・1	地域住宅計画(HOPE計画)の策定町に指定。 むし歯予防啓発推進事業の地域指定。			
	5・26	日本海中部地震が発生。災害対策本部を設置。(震度5、被害総額7,981万4千円、重傷2人)			
	7・19	京都大学交響楽団演奏会を広域五城目体育館で開催。			
	7・23	中山遺跡発掘調査を実施。「朱塗りの弓」など全国的にも貴重な遺物を発見。 五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。			
	7・29	昭和58年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万8,266円)			
	10・15	県道秋田八郎潟線恋地バイパスが開通。			
	11・3	町功労者 佐藤邦彦氏(自治、産業)、特別功労者 松橋福蔵氏(県外にあって町発展に功労)			
					五城目休養センター「恋地山荘」が竣工
				昭和57年11月2日、役場新庁舎開庁式	
			<p><秋田県></p> <p>4・10 県知事佐々木喜久治氏が再選。</p> <p>5・26 日本海中部地震が発生。</p> <p><国内外></p> <p>2・1 改正老人保健法が施行。</p> <p>6・26 第13回参議院議員選挙執行。全国比例代表制に。</p> <p>11・28 衆議院解散。</p> <p>12・18 第37回衆議院議員選挙執行。</p> <p>12・27 第2次中曽根内閣が成立。</p>		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和59年 (1984)	1・6	町消防団ラッパ隊が消防出初式で初吹奏。		<秋田県>
	2・10	雪害対策本部を設置。	4・27	雄和町に県立中央公園スポーツゾーンが完成。
	2・11	上町通りの流雪溝が完成。排雪作業を始める。		
	3・8	昭和59年度当初予算決定。(一般会計32億3,700万円) 長期総合発展計画基本構想を策定。 町国土利用計画が議決。	8・20	全国高校野球選手権大会(甲子園)で金足農高が4強。
	3・10	町清掃センターが竣工。	10・11	秋田空港へ航空自衛隊救難隊を設置。県と防衛庁が協定。
	3・28	町議会議員選挙執行。		<国内外>
	4・6	第18代町議会議長に小熊金之助氏、副議長に佐々木市太郎氏就任。 町遭難対策委員会を設置。	1・10	政府全閣僚の資産公開実施基準を決定。
	4・20	第1回文化経済懇話会を開催。	1・23	日本初の実用放送衛星を打ち上げ。2月16日に静止成功し「ゆり2号」と命名。
	5・20	馬場目小が学校林活動コンクール全国植樹祭で準特選を受賞。 真崎堰改良工事が完成。	2・27	冒険家の植村直己氏が北米マッキンリーで遭難。生存絶望。
	6・1	秋田中央交通路線バスの一部が湖東総合病院直通となる。	3・18	江崎グリコ社長が誘拐。怪人21面相事件が発生。
	6・2	町森林資料館「五城目城」が開館。	6・30	日本人の平均寿命が世界一と発表。(男74.2歳、女79.78歳)
	6・14	山王山奉納相撲が復活。高性寺境内で開催。	11・1	新札が発行。 第2次中曽根内閣が成立。
	6・15	町誘致企業、北光フェライトが竣工。		
	8・1	全国高校総体レスリング競技会が広域五城目体育館で開催。(～4日)		
	8・8	昭和59年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万8,668円)		
	8・19	第1回馬場目川イカダ川下り大会が開催。		
	9・5	湖東部農業共済組合事務所が新築。(大川下樋口字古川敷1-1)		
	9・15	広報ごじょうめ500号を発行。		
	9・26	町誘致企業、五城目電機が操業開始。 町職員の定年等に関する条例を制定。定年を60歳に。		
	10・12	最低賃金 1日3,044円、1時間381円		
	10・14	鷹巣町との交歓スポーツ大会が11年の幕を閉じる。		
	10・20	第1回町国民健康保険杯ゲートボール大会が雀館運動公園で開催。(参加42チーム)		
	11・3	石井金之助氏が県文化功労者(工芸)として表彰。 町功労者 遊佐武氏(民生、福祉)、北嶋ヒサ氏(社会教育)		
	11・10	金子喜三郎氏が現代の名工(卓越した技能者)に。		
	11・23	佐川俊雄さんが新嘗祭に「あわ」を献穀。		
11・26	富津内稜線林道の開通式を実施。(高野、小川口間6.5km、総事業費3億9,700万円)			
12・13	矢田津世子文学記念碑の除幕式を開催。			

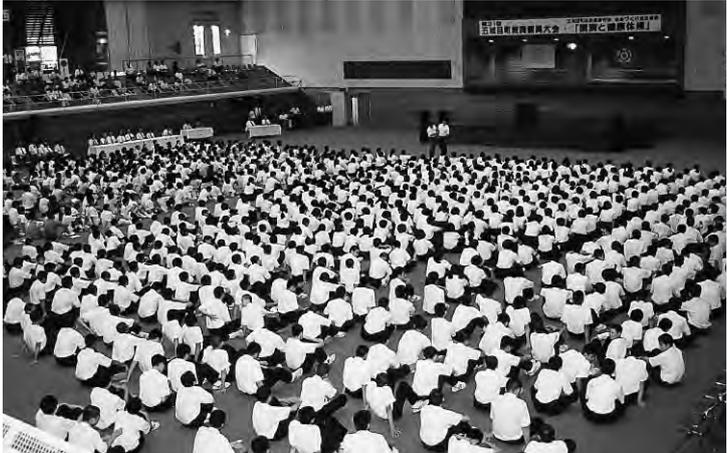


矢田津世子文学記念碑



森林資料館
「五城目城」

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 60年 (1985)	2・6	旧役場庁舎を解体。		<秋田県>	
	2・17	町長選挙執行。第9代町長に加賀谷力司氏当選。	1・7	秋エラグビーが16年ぶり14回目の日本一。	
	3・20	第9代収入役に佐藤祐治氏を選任。 昭和60年度当初予算決定。(一般会計31億9,600万円)	9・9	県行革大綱が決定。	
	4・1	森林資料館「五城目城」で矢田津世子展を開催。	12・18	県警と五城目署が大潟村で4億円以上のヤミルートを摘発。	
	4・12	秋田技能社(異業種組合)が結成。(中村成人理事長、組合員8人)		<国内外>	
	4・15	町記録ビデオ6巻が完成。試写会を実施。テープの貸し出しを開始。	3・10	青函トンネルの本坑53.85kmが貫通。	
	5・1	町議会に広報委員会が発足。議会広報「議会だより」の創刊号を編集発行。	3・14	東北、上越新幹線が上野まで開業。	
	5・22	町物産協会が設立。(渡辺琢智会長、会員28人)	3・16	科学万博「つくば'85」が開幕。	
	5・29	加賀谷町長が天皇陛下主催赤坂御苑春の園遊会に出席。	4・5	捕鯨を全面撤退。	
	6・22	町役場庁舎で防災訓練を実施。	8・12	日航ジャンボ機が墜落。	
	7・24	昭和60年産米政府買入価格決定。(60粳当たり1万8,668円)	11・19	レーガン米大統領とゴルバチョフソ連書記長が首脳会談。	
	7・27	町の道路里程標を役場前に設置。除幕式を実施。			
	8・10	共同福祉施設「リバーサイド磯ノ目」が開館。 国道285号五城目バイパスが全面開通、供用開始。			国道285号線五城目バイパスが完成
	8・21	中央線(バスターミナル前、新町交差点間)で全町盆踊り大会を開催。			
	8・31	木村謹治博士の顕彰碑を農村環境改善センター前庭に建立。			
	9・8	渡辺銀雨氏の川柳句碑を四渡園に建立。			
	10・1	国勢調査実施。(人口1万5,047人、世帯数3,894世帯)			
	10・20	躍進町合併30周年記念式典を開催。 町民憲章、町の花、鳥、木を制定。 町功労者 伊藤一郎氏(教育学芸、文化)、長谷川専治氏(産業経済)、本間作治氏(教育、スポーツ)、宮川庄太郎氏(社会体育、民生)			
	10・27	杉沢小創立100周年記念式典を開催。 ボーイスカウト秋田第30団結団20周年記念式典を開催。			
11・27	町若妻連絡協議会創立10周年記念式典を開催。				
12・8	町連合青年会結成30周年記念式典を開催。				
12・12	旧五城目小、矢場崎グラウンド跡地にそれぞれ記念碑を建立。				
昭和 61年 (1986)	1・24	東京渋谷東急百貨店で秋田大物産展を開催。五城目朝市が好評を博す。(～29日)			<秋田県>
	2・1	町消防団長に畑澤一視氏を任命。	4・1		県赤十字血液センターが、これまでの倍の400ml献血を開始。
	2・7	雪害対策本部を設置。	7・18		「秋田博'86」が開幕。
	3・18	町議会議員の定数を24人から22人に変更。 水道料金を改正。(4月1日施行) 昭和61年度当初予算決定。(一般会計31億8,800万円)	8・28		県総合保健センターと県社会福祉会館、県衛生科学研が完工。
	4・3	第19代町議会議員長に小熊金之助氏、副議長に佐々木市太郎氏就任。	11・1		国鉄阿仁合、角館両線が第三セクター「秋田内陸線」として開業。
	4・8	市発祥の記念碑を町村農村公園に建立。			<国内外>
	4・20	北ノ又、蛇喰で映画「イタズ・熊」のロケが始まる。	5・4		第12回先進国首脳会議(東京サミット)を開く。
	4・26	矢場崎町営住宅を一般に公開。	7・6		第38回衆議院議員選挙、第14回参議院議員選挙執行。
	5・1	広報ごじょうめに有料一般商業広告の掲載を開始。	9・6	社会党委員長に土井たか子氏が就任。初の女性党首。	
	5・2	第17回秋田県建具展が広域五城目体育館で開催。町内業者が上位を独占。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 61年 (1986)	5・15	複式学習指導研修講座を杉沢小で開催。		
	5・26	五城目橋歩道架設工事を開始。		
	5・31	加賀谷町長が千代田区役所で加藤千代田区長と会談。姉妹都市提携を前提とした交流が始まる。		
	6・3	あいさつ運動モデル道路を設定。		
	6・6	第32回全県高校総合体育大会バレーボール、レスリング競技を開催。(～9日)		
	6・9	日輝会会長の三上隆彦画伯が来町。美術作品100点の本町への寄贈が決定。		
	6・21	五城目木材流通センターが杉ヶ崎に完成。		
	7・1	馬城橋の架け替え工事が始まる。		
	7・16	町内会長会会長に新谷秋蔵氏が就任。		
	8・13	昭和61年産米政府買入れ価格決定。(60㍩当たり1万8,668円)		
	8・22	長寿社会構築対策懇談会を設置。		
	10・12	最低賃金 1日3,251円、1時間407円		
	10・19	町功労者 松橋福蔵氏(文化)、安田鶴治氏(民生)、菊地庄七氏(産業開発)、沢田石廣治氏(自治、民生、産業)		
11・10	木造住宅産業と中央線シンボルロード沿道整備の推進部会を設置。 町行政教育大綱がまとまる。			
11・22	千代田区神田旭町の佐竹稲荷神社で秋田杉の植栽と記念碑を建立。			
12・7	馬川小跡地に記念碑を建立。			
				
		五城目町教育振興大会		
昭和 62年 (1987)	1・4	役場執務室での喫煙を禁止。		<秋田県>
	2・1	第9代助役に伊藤卓治氏を選任。	1・29	プロ野球の落合博満選手が県民栄誉賞を受賞。(第1号)
	2・10	恋地山荘が宿泊施設に生まれ変わる。	4・12	県知事佐々木喜久治氏が3選。
	3・18	昭和62年度当初予算決定。(一般会計37億8,560万円)	12・19	森吉、阿仁スキー場がオープン。
	3・31	富津内中が閉校。		<国内外>
	4・1	五城目一中と富津内中が統合。 「いきいき町民100日運動」がスタート。 森林資料館「五城目城」で館岡栗山展を開催。	9・22	天皇陛下がすい臓疾患で入院手術。
	4・12	県議会議員選挙で伊藤万次郎氏が当選。	11・6	中曽根氏の指名で竹下政権が成立。
	5・3	青森市で開催された東北少年レスリング大会に本町のチビッコレスラーが初登場。	12・8	レーガン・ゴルバチョフ首脳会談がホワイトハウスで開催。INF全廃条約に調印。
	5・17	映画「イタズ・熊」が完成。弓道場で試写会を開催。		
	6・17	千代田区から「江戸上水道木樋」が寄贈。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 62年 (1987)	6・19	日輝会からの美術作品100点寄贈を記念し式典を開催。		
	7・1	町クリーンセンター(し尿処理施設)が起工。		
	7・17	昭和62年産米政府買入れ価格決定。(60粍当たり1万7,557円)		
	7・25	千代田区神田旭町会と本町町内会長会が姉妹都市提携調印。		
	8・12	町道水沢線が開通。		
	8・29	第1回愛のふれあいパーティー青年交流会を開催。		
	9・14	町議会議長の小熊金之助氏が逝去。		
	10・3	第20代町議会議長に齊藤三四郎氏就任。		
	10・10	最低賃金 1日3,323円、1時間416円		
	11・3	町功労者 小玉嘉一郎氏(教育)、佐藤郁氏(社会教育)、伊藤彌一氏(自治、産業)、小玉太美雄氏(自治、民生、産業)		
	11・15	菅江真澄記念碑を円通寺内に建立。		
	昭和 63年 (1988)	3・8	昭和63年度当初予算決定。(一般会計38億2,600万円)	
3・15		町クリーンセンター(し尿処理施設)が竣工。4月1日から本格操業。	2・6	<秋田県> 岩城CC疑惑で県が県知事など19人を処分。秋田魁新報社では3人が退陣。
3・27		町議会議員選挙執行。		
4・1		「千代田のさくらまつり」に本町の朝市が参加。	8・3	あきたこまちが品種別作付けでキヨニシキを抜きトップに。
4・6		第21代町議会議長に小玉哲郎氏、副議長に齊藤明氏就任。		
4・13		コスモスロード造成推進部会が発足。	12・6	交通事故の死者が過去10年間で最高の100人に。
4・16		伊藤シミさん(富津内落合)が満100歳。町寿条例の100歳祝い金第1号に。		<国内外>
4・30		馬城橋の竣工記念式典、第1回きゃどっこまつりを開催。	1・1	米ソの首脳がテレビを通じ相手国民への新年のメッセージを交換。
6・8		国道103、104、105、285号の統一愛称を「あきたリゾートライン」に決定。	1・13	訪米の竹下首相がレーガン大統領と初の首脳会談。協力関係維持で合意。
6・12		「全国朝市サミット・イン五城目」を開催。		
7・22		昭和63年産米政府買入れ価格決定。(60粍当たり1万6,743円)	3・13	青函トンネルが開業。連絡船は80年の歴史に幕。
8・6		町教育委員会英語指導助手にアーネスト・サンダーさんが着任。	4・10	瀬戸大橋が開通。
9・1		千代田区防災訓練に救援物資を搬送。		
9・23		富津内北口に千代田区神田旭町会と本町町内会長会の姉妹都市提携記念碑を建立。		
10・6		教育長に渡部雄一氏が就任。		
10・14	最低賃金 1日3,424円、1時間429円			
10・23	町功労者 佐藤祐耕氏(教育)、永澤政治郎氏(伝統技術、弓道)、阿部チャ氏(社会教育)、加藤甚一氏(自治)、畠山豊氏(自治、産業)			
11・1	第111回秋田県種苗交換会が本町で開催。(～7日、入場者数52万8千人)			
11・5	河川花だん「磯ノ目フラワーライン」が内閣総理大臣賞を受賞。			
11・15	広報ごじょうめ600号を発行。			



第111回秋田県種苗交換会

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 元年 (1989)	2・7	ひとり暮らし老人を対象に緊急通報システムを導入。		<秋田県>
	2・19	町長選挙執行。第10代町長に佐藤邦夫氏当選。	3・30	北緯40度シーズナルリゾートあきたを国が承認。
	3・17	平成元年度当初予算決定。(一般会計41億100万円)		
	4・1	役場開庁方式による4週6休を試行。	4・1	秋田相互銀行が普通銀行「秋田あけぼの銀行」に改称。
	4・3	第11代助役に菊地耕二氏を選任。		
	4・14	秋田駅前アゴラ広場で五城目朝市を開催。(～18日)	8・21	全国高校野球選手権大会(甲子園)で秋田経法大附高が4強。
	4・24	町花いっぱい運動推進委員会を設立。(阿部三郎会長)		<国内外>
	5・1	町中央公民館長に大石成雄氏が選任。	1・7	十二指腸乳頭周囲腫瘍のため、昭和天皇が崩御。
	5・26	町総合防災訓練に千代田区から職員が応援に駆けつけ、1,000人分の救援物資などを配布。	1・8	「平成元年」がスタート。
	6・27	町公共下水道計画第1期分が国から認可。	6・2	竹下内閣が総辞職。
	7・16	第5回東北親善川柳大会を本町で開催。	6・24	歌手の美空ひばりさんが死去。
	7・29	第6回全国少年レスリング選手権大会で本町のチビッコレスラー3人が優勝。	7・23	第15回参議院議員選挙執行。
	7・30	町壮年集団世話人会が結成。第1回壮年のつどいを開催。五城目小の工藤聡さんがわんぱく相撲全国大会5年生の部で優勝。	8・9	宇野内閣が総辞職。
	8・1	森林資料館「五城目城」で八木下弘写真展を開催。平成元年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,743円)	9・1	海部・ブッシュ日米首脳会談。
	8・3	木村茂千代田区長が町を公式訪問。(～5日)水不足緊急対策本部を役場内に設置。	9・29	横綱千代の富士が国民栄誉賞を受賞。
	8・17	元卓球世界チャンピオンの江加良さん(中国)の卓球教室を開催。		
	8・20	第8回東北学童相撲大会で五城目小が団体優勝。個人でも畑沢聖さん(五城目小)が優勝。		
	8・21	まちおこし町民100人会議の第1回会合を開催。		
	8・25	町誘致企業、秋田部品五城目工場が操業開始。		
	9・4	町誘致企業、エドウィン秋田ホーセ大川工場が操業開始。		
9・26	第10代收入役に加藤千雄氏を選任。			
9・29	ふるさと創生1億円の活用方法が決定。(創生基金に8千万円、構想策定コンサルタント委託料に2千万円)			
9・30	第25回全国身体障害者スポーツ大会で本町の代表者が銀、銅メダルを獲得。			
10・26	千代田区と本町との姉妹都市提携調印式が千代田区議場で開催。 最低賃金 1日3,535円、1時間446円			
11・3	町功労者 加賀谷正作氏(産業)、石井良司氏(民生)、伊藤卓治氏(自治、文化)、工藤孝二氏(自治、産業)、二方シワ氏(民生)			
11・17	ふるさと五城目会設立総会を千代田区九段会館で開催。 ※町総合発展計画第2次5か年実施計画を策定。			



平成元年10月26日、千代田区との姉妹都市提携調印式



昭和63年に始まり、現在も続くきやどっこまつり

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 2年 (1990)	1・25	まちおこし100人会議が佐藤町長に建議書を提出。		<秋田県>
	2・23	町収入役の加藤千雄氏が逝去。	2・2	あきたスカイドームが完成。
	3・17	平成2年度当初予算決定。(一般会計44億8,500万円)	3・26	金足農高と秋田経法大附高が全国選抜高校野球大会に出場。県2校は東北初。
	3・31	新しい斎場が完成。		
	3	全国でも珍しい秋田杉の集成材を使用した「湯ノ又橋」が完成。	5・15	ミネソタ州立大学機構秋田校が開学。
	4・1	役場開庁方式による4週6休を実施。 水道料金の自動振替を実施。 過疎地域活性化特別措置法の過疎地域に指定。	7・8	県護国神社が全焼。
		第22代町議会議長に小玉哲郎氏、副議長に齊藤明氏就任。	2・18	<国内外> 第39回衆議院議員選挙執行。
	4・10	町総合生きがいセンターが開館。	3・9	社会党委員長選挙で土井たか子氏が無投票3選。
	5・3	北日本少年レスリング大会で本町関係の3人が優勝。	3・15	ソ連初の大統領にゴルバチョフ最高会議議長が就任。
	5・18	開かれた町政を目指し「町政座談会」がスタート。	10・3	東西ドイツが統一。
	5・20	五城目ロータリークラブ創立25周年記念式典が開催。	11・22	天皇即位に伴う大嘗宮の儀が行われる。
	6・1	町誘致企業、大久工業(株)五城目工場が操業開始。	12・2	秋山豊寛さんが日本人初の宇宙飛行を実現。
	6・16	五城目営林署設置100周年記念祝賀会が開催。	12・29	第2次海部改造内閣が成立。
	6・17	東北弓道大会で弓道矢場崎クラブが初優勝。		
	7・1	第1回森鈴旗争奪秋田追分全国大会を開催。(優勝 伊藤正蔵さん、十文字町)		
	7・27	平成2年産米政府買入れ価格決定。(60㍩当たり1万6,500円)		
	8・6	杉沢小緑の少年団が県代表として全国大会に参加。		
	8・18	五城目天翔太鼓が初舞台。(子どもの祭典、馬城橋特設会場)		
	8・19	伊藤俊彦さん(五城目小)が県小学校水泳競技大会50m自由形で27秒77の東北学童新記録を樹立。		
	9・9	あきた湖東青年会議所創立総会が開催。		
	9・10	中山遺跡の発掘調査を実施。(～10月9日)日本最古と思われる「弯弓」などが出土。		
	9・21	町過疎地域活性化計画を策定。(前期5年分)		
	9・28	悠紀斎田で「抜穂の儀」が行われる。(大田主 伊藤容一郎さん、石崎)		
	10・1	国勢調査実施。(人口1万4,161人、世帯数3,885世帯)		
	10・10	五城目大物産展を秋田市長崎屋で開催。(～15日)		
	10・12	最低賃金 1日3,738円、1時間468円		
	10・19	町商工会創立30周年記念式典が開催。		
10・28	町農協合併設立25周年記念式典が開催。			
10・29	五城目幼稚園創立40周年記念式典を開催。			
11・3	躍進町35周年記念式典を開催。 町功労者 工藤松太郎氏(美事善行、福祉)、三浦清三郎氏(自治、学術文化)、佐藤忠四氏(教育)、武田新市氏(民生、産業)			



町内会で町政座談会を開催



中山遺跡発掘調査



平成2年9月28日、悠紀斎田抜穂の儀

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 3年 (1991)	3	平成3年度当初予算決定。(一般会計47億5,400万円)		<秋田県>
	4・30	馬場目地区文化交流センター(ふれあいセンター)と馬場目保育園の竣工式を実施。	4・7	県知事佐々木喜久治氏が4選。
	5・27	養護老人ホーム森山荘の竣工式を実施。	5・22	県立農業科学館が大曲市に完成。
	7・1	第3子以降の保育料を無料化。	7・25	秋田自動車道横手、秋田間が開通。
	7・26	平成3年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)	1・17	<国内外> 湾岸戦争に突入。
	9・6	町ごみ対策懇談会がスタート。	4・16	ゴルバチョフソ連大統領が来日。 ソ連最高首脳では初。
	9・28	台風第19号で大きな被害。(被害総額約9億円)	6・3	長崎県雲仙岳が噴火。
	10・1	町内公共施設の使用料などに3%の消費税を課税。	11・5	海部内閣が総辞職。宮沢内閣が成立。
	10・10	石井ギヅさん(寺庭)が満100歳。		
	11・3	町功労者 安東誠氏(保健衛生、文化)、長谷川定作氏(産業)、小熊久孝氏(自治、福祉)		
	12・3	一関金八さん(久保)が満100歳。		
	12・20	森山地区公民館が完成。		
				
		大きな被害をもたらした 台風第19号		
平成 4年 (1992)	1	町役場で第2、4土曜日を休日とする、土曜閉庁方式の4週6休を実施。		<秋田県>
	1・20	コンピューターによる住民票の発行をスタート。	3・13	秋田、盛岡間のミニ新幹線化事業に着手。
	3・6	中山遺跡の出土品30点が県有形指定文化財に。	4・1	農協の呼称が「JA」に。
	3	平成4年度当初予算決定。(一般会計49億3,500万円)	8・26	皇太子殿下を迎え、第4回全国農業青年交歓大会が開幕。
	3・29	町議会議員選挙執行。	9・1	ハタハタの3年間全面禁漁が決定。
	4・1	町で実施するすべての検診が無料に。		<国内外>
	4・4	杉沢小・中が新校舎で新学期をスタート。	3・1	暴力団対策法が施行。
	4・7	第23代町議会議長に佐藤成孝氏、副議長に館岡幸雄氏就任。	6・15	PKO法が成立。
	5・20	屋内ゲートボール場「すぱーく五城目」が完成。	7・1	山形新幹線が開業。
	6・20	市神祭が開催。(～21日)上町通りで30年ぶりの朝市。	7・26	第16回参議院議員選挙執行。
	7・17	平成4年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)	10・14	佐川急便事件で金丸前自民党副総裁が議員辞職。
	9・12	学校週5日制がスタート。第2土曜日が休日。	10・23	天皇陛下が初の中国訪問。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 4年 (1992)	9・22	町新総合発展基本構想を策定。	12・11	宮沢改造内閣が成立。
	11・3	町功労者 荒川豊治氏(自治、産業)、齊藤三四郎氏(自治)、宮田盛之助氏(産業)、畑澤實氏(民生、教育、学芸、文化)、菊地鶴松氏(産業)		
				
		屋内ゲートボール場すばーく五城目		
平成 5年 (1993)	1・27	杉沢小・中校舎と体育館、杉沢保育園が完成し竣工式を実施。	4・1 9・29 11・2 12・9 6・9 6・18 7・18 7・29 12・14	<秋田県> 羽後銀行とあけぼの銀行が合併し「北都銀行」がスタート。 世界陸上マラソン優勝の浅利純子選手に県民栄誉賞。 県立図書館、公文書館がオープン。 白神山地が世界遺産に登録。 ※冷害で稲作は戦後最大の不作。 <国内外> 皇太子殿下「結婚の儀」。 衆議院解散。 第40回衆議院議員選挙執行。 細川内閣非自民連立政権が樹立。 米市場の部分的開放を決定。
	2・24	町長選挙執行。第11代町長に佐藤邦夫氏当選。		
	3・16	平成5年度当初予算決定。(一般会計49億8,800万円)		
	3・30	第12代助役に菊地耕二氏、第11代収入役に伊藤太幸氏を選任。		
	3・31	西野第1農道が完成。		
	4・1	老人訪問看護ステーションがスタート。		
	7・23	盆城庵、北ノ又自然館がオープン。		
	8・10	平成5年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)		
	8・30	町老人クラブ連合会創立30周年記念で老人福祉大会が開催。		
	9・2	朝市が公共下水道工事のため東磯ノ目に一時移転。		
	10	稲作が戦後最大の冷害。(被害総額約6億5千万円)		
	11・3	町功労者 北嶋禮三郎氏(自治)、分銅日香氏(自治、文化)		
	平成 6年 (1994)	1・4		
3・15		平成6年度当初予算決定。(一般会計52億6,350万円)		
3・18		米不足の千代田区に「あったか米」を贈る。		
4・1		役場機構改革を実施。部制を廃止し、課制の新しい組織機構でスタート。		
4・6		第24代町議会議長に佐藤成孝氏、副議長に館岡幸雄氏就任。		
4・20		富津内地区公民館の竣工式を実施。		
4・22		五城目天翔太鼓が米サンフランシスコの「第27回北カリフォルニア桜祭り」に参加。(～24日)		
5・2		大川、磯ノ目地区などの一部で公共下水道の供用開始。		
5・20		社会福祉法人五城目やまゆり会が設立。		
6・18		みちのく溪流釣り大会in馬場目川を開催。(～19日)		
7・18		平成6年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
平成 6年 (1994)	10・16	第1回朝市500年記念マラソン大会を開催。			
	11・3	町功労者 今村方介氏(自治、産業経済)、佐々木吉三郎氏(自治、産業)			
	11・15	1日課長制度を実施。			
	12・16	町過疎地域活性化計画の後期計画を策定。			
					
		平成6年から始まった朝市500年記念マラソン大会			
平成 7年 (1995)	1・13	農村総合整備モデル事業の竣工式を実施。(総事業費22億2,700万円)		<秋田県>	
			4・9	県知事佐々木喜久治氏が5選。	
	3・14	平成7年度当初予算決定。(一般会計53億5,600万円)		9・4	県の食料費、旅費問題に対する内部調査結果を公表。
	3・17	日本海沿岸東北自動車道の昭和、琴丘間中心杭杭打式が実施。		10・1	ハタハタ漁を3年ぶりに解禁。
	3・29	五城目都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業が完成。		10・25	水稲作況指数が全国最低の「91」不良と発表。
	4・2	総合交流センター「五城館」がオープン。矢田津世子文学記念室を公開。		12・1	井川さくら駅が開業。
	4・3	やまゆり会特別養護老人ホーム「広青苑」、ケアハウス「いこいの里」がオープン。		12・7	12月県議会で平成6年度決算を不認定。
	5・20	朝市500年祭春まつりを開催。		<国内外>	
	6・25	「環境と文化のむら」がオープン。		1・17	阪神淡路大震災が発生。(M7.2、死者約6,300人)
	6	一般廃棄物埋立処分場建設予定地が兎品沢に決定。		3・20	東京地下鉄サリン事件が発生。(死者12人、重軽傷者5,000人超)
	7・14	平成7年産米政府買入れ価格決定。(60㍩当たり1万6,392円)		5・16	オウム真理教の麻原彰晃代表が逮捕。
	7・21	第3回全国やまゆりサミットin五城目'95を開催。		6・2	野茂英雄投手が大リーグで初勝利。
	8・4	栃木県南河内町の小学生が杉沢地区で短期山村留学。(～8日)		7・23	第17回参議院議員選挙執行。
	8・15	朝市500年祭夏まつり、きゃどっこまつり'95を開催。(～16日)		10・30	オウム真理教に解散命令。
	8・24	馬場目ダム建設促進期成同盟会を設立。		11・1	新食糧法が施行。
	9・6	町消防団第7分団が県消防操法大会で優勝。		11・23	パソコンソフト・ウインドウズ95が発売。
	9・29	秋田チョー・オユー登山隊(本町出身・伊藤清春さん、沢田石順さん)が県人隊として初めて8,000㍎峰への登頂を果たす。		12・8	動燃の高速増殖炉「もんじゅ」で液体ナトリウム漏れ事故が発生。
	10・1	国勢調査実施。(人口13,371人、世帯数3,867世帯)			
	10・22	朝市500年祭秋まつり、朝市サミットを開催。			
	11・3	町合併40周年記念式典を開催。 町功労者 石川誠一郎氏(自治)、笹川兼吉氏(自治、産業)、新谷秋蔵氏(自治、産業)、佐藤幸氏(産業)、畑澤一視氏(民生)			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
		 <p>平成7年10月22日、朝市500年記念碑の除幕</p>		 <p>郷土の心を演奏する五城目天鼓太鼓</p>
平成8年(1996)	2・10 2 3・8 3・10 3・24 4・1 4・4 4・29 5・1 5・25 6・24 7・24 9・21 10・14 10・27 10 11・3 11・10 12・26	<p>朝市500年祭冬まつりを開催。朝市500年祭を締めくくる。 行政改革大綱をまとめる。</p> <p>平成8年度当初予算決定。(一般会計51億4,400万円)</p> <p>分銅惇作氏、木村敬三氏をふるさと大賞として表彰。</p> <p>町議会議員選挙執行。</p> <p>行政改革大綱、定住促進制度がスタート。</p> <p>第25代町議会議長に伊藤浩司氏、副議長に猿田和男氏就任。</p> <p>環境と文化の村内にフィールドアスレチックコースがオープン。</p> <p>上町商店会と下町商店会が統合し五城目商店会を結成。</p> <p>近畿五城目会が発足。</p> <p>県道秋田八郎潟線保呂瀬、杉沢間が完成。</p> <p>三浦真氏らが町で芸術を通し国際交流。</p> <p>山内番楽保存会が米ニューヨークのカーネギーホールで公演。</p> <p>千代田区神田旭町会と町町内会長会との姉妹提携10周年記念式典を開催。</p> <p>大川小120周年記念式典を開催。 最低賃金 1日4,526円、1時間566円</p> <p>町功労者 佐々木市太郎氏(自治)、齊藤明氏(自治)、伊藤與四郎氏(自治)</p> <p>富津内小120周年記念式典を開催。</p> <p>渡邊彦兵衛商店が「登録文化財」に登録。 ※平成8年産米政府買入れ価格(60畝当たり1万6,392円)</p>	3・11 3・30 5・2 6・20 9・20 1・11 1・19 3・19 5・31 7・3 7・20 10・20 11・6 12・20	<p><秋田県></p> <p>県の食料費・旅費の不適正執行額が8億1,900万円。</p> <p>秋田新幹線工事のためJR田沢湖線が全面運休。</p> <p>平成19年秋田国体の会場に46市町村が決定。</p> <p>県立大学の秋田市、本荘市分離設置が正式決定。</p> <p>食料費問題の政治責任をめぐり、県議会が初となる知事の辞職を求める動議を提出。</p> <p><国内外></p> <p>橋本内閣が成立。</p> <p>社会党が社会民主党に改称。</p> <p>厚生省が薬害エイズ資料を公表。</p> <p>2002年サッカーワールドカップの日韓共催が決定。</p> <p>ウィンブルドンテニスで伊達公子選手がベスト4。</p> <p>病原性大腸菌「O-157」の患者が6,000人超、死者7人に。</p> <p>第41回衆議院議員選挙執行。(小選挙区比例代表並立制に)</p> <p>携帯電話、PHSが2,000万台を突破。</p> <p>ペルーの日本大使館を左翼ゲリラが襲撃。</p>

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 9年 (1997)	1・14	湯ノ又簡易水道が完成。		<秋田県>
	2・16	町長選挙執行。第12代町長に佐藤邦夫氏当選。	3・3	佐々木知事が3月31日付けでの辞職申出書を県議会議長に提出。
	2・24	第26代町議会議長に石井孫一氏就任。		
	3・11	平成9年度当初予算決定。(一般会計59億9,000万円)	3・22	秋田新幹線が開業。
	3・15	町観光協会30周年記念式典が開催。	4・20	秋田県知事に寺田典城氏が当選。
	3	町児童育成計画「エンゼルプラン」を策定。	7・11	大館樹海ドームが完成。
	4・1	湖東総合病院訪問看護ステーションが開設。	7・23	秋田自動車道湯田、北上西間が開通。
	4・29	ターミナルパーク磯ノ目がオープン。		
	7・1	行政手続条例を施行。	10・1	天皇皇后両陛下がご来県。
	8・12	第13代助役に畑澤達雄氏、第12代收入役に小林博實氏を選任。	12・2	知事が秋田県木材住宅に、破産法に基づく精算を通告。
	9・13	土橋傑さんが国体カヌー競技で第3位に入賞。		<国内外>
	9・26	今村久悦氏をふるさと大賞として表彰。	4・1	消費税が5%に。
	10・2	最低賃金 1日4,629円、1時間579円	7・1	香港が1世紀ぶりに中国に返還。
	10・26	五城目一中創立50周年記念式典を開催。	8・31	ダイアナ元英国皇太子妃が交通事故死。
	11・2	杉沢小創立110周年、杉沢中創立50周年記念式典を開催。	11・16	サッカーワールドカップフランス大会に日本の出場が決定。
	11・3	町功労者 菊地耕二氏(自治、産業、福祉)		
	11・13	秋田朝日放送の電波を葉師山から発信開始。 秋田自動車道昭和男鹿半島インターチェンジが開通。		
11・30	五城目婦人会50周年式典を開催。			
12・13	国道285号山内バイパスが暫定供用開始。 ※平成9年産米政府買入れ価格。(60粳当たり1万6,217円)			
				
		五城目神明社神楽殿で行われている 番楽競演会		
平成 10年 (1998)	1・11	町青年会OB会の結成総会が開催。		<秋田県>
	3・2	馬場目小学校舎と体育館の改築に着工。	2・26	県木住と秋住に破産宣告。
	3・18	平成10年度当初予算決定。(一般会計53億1,500万円)	3・13	旧秋田空港跡地に風力発電施設が完成。
	3・31	国道7号と同285号を結ぶふるさと農道が完成。(大川、上樋口間)	4・1	副知事に坂東久美子氏が就任。
	4・1	五城目町、井川町、飯田川町、昭和町の4JAが合併し「あきた湖東農業協同組合」が発足。 秋田中央保健所が業務開始。秋田保健所五城目支所は業務終了。	7・18	あきた北空港が開港。
	4・9	第27代町議会議長に石井孫一氏、副議長に猿田和男氏就任。	8・3	森吉町で日本ジャンボリーが開幕。
	4・10	第1回新規学卒者合同入社式を開催。	12・22	県立大学の設置が認可。
	4・23	一般廃棄物埋立処分場が完成。	12・28	能代工高バスケットボール部が全国大会優勝50回を達成。
	5・1	広報ごじょうめで再生紙の使用を開始。		<国内外>
	5・8	よつば会共同作業所が開所。	2・7	長野冬季オリンピックが開幕。
	5・25	町ポイントカード会がポイントカード事業「ごっくんカード」をスタート。	2・22	郵便番号が7けたに。
			5・27	大関若乃花(2代目)が横綱に昇進。初の兄弟横綱が誕生。
			6・22	金融監督庁が発足。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
平成 10年 (1998)	6・1	日本海沿岸東北自動車道昭和、琴丘間の建設に着工。	6・29	サッカーワールドカップフランス大会が開幕。	
	6	伝統工芸技能後継者育成事業をスタート。	7・12	第18回参議院議員選挙執行。	
	8・9	大手橋が完成。渡り初めを実施。	7・25	和歌山で毒物カレー事件発生。	
	9・1	個人情報保護及び情報公開制度がスタート。	7・30	小淵内閣が成立。	
	9・2	広報ごじょうめが全国広報コンクールで入選。	9・27	大リーグでマグワイア選手が年間70本の本塁打。	
	10・3	五城目信用金庫創立70周年記念式典が開催。	12・16	米英がイラクの軍事施設などを空襲。	
	10	最低賃金 1日4,713円、1時間590円			
	11・3	町功労者 永井慶二郎氏(教育、スポーツ)、松橋勇氏(自治)、小玉哲郎氏(自治)			
	11・8	ふるさと五城目会設立10周年記念式典が開催。			
	12・15	町国土利用計画を改訂。			
	12・18	教育長に小玉康夫氏が就任。			
	12・19	平成19年秋田国体に向け国体レスリング大会準備委員会が設立。			
		※平成10年産米政府買入れ価格(60㍩当たり1万5,805円)			
	平成 11年 (1999)	2・18	齊藤タ子さん(広青苑)が満100歳。		<秋田県>
3・1		地域振興券を交付。	4・1	秋田営林局と青森営林局が統合し東北森林管理局が発足。	
3・15		国道285号落合、北村間の改良整備に着手。	4・11	県立大学が開学。(新入生375人)	
3・23		平成11年度当初予算決定。(一般会計55億2,000万円)	7・9	苫小牧、秋田、新潟、敦賀を結ぶ定期フェリー便が就航。	
3・29		新おせど会館が完成。	10・15	落合博満選手がプロ野球を引退。	
4・1		五城目幼稚園で4歳児からの2年保育を実施。 杉沢小・中で特認校制度がスタート。 東北森林管理局が発足。五城目営林署が米代西部森林管理署五城目事務所に。 チャイルドシートの購入補助を開始。	11・15	浅利純子選手が東京国際女子マラソンで2度目の優勝。	
4・22		町第1号の救急救命士が誕生。	1・1	<国内外> 欧州単一通貨のユーロが誕生。	
5・1		上山内地区農業集落排水施設が供用開始。	4・1	改正男女雇用機会均等法がスタート。	
6・3		齊藤キヨノさん(門前)が満100歳。	9・30	茨城県東海村で国内初の臨界事故が発生。	
6・18		町議会6月定例会が行政報告と一般質問を終了後、会期切れ(流会)となる。	10・5	自自公連立の小淵改造内閣が成立。	
7・11		農業委員会委員選挙執行。	12・20	アジア最後の植民地マカオが中国に返還。	
8・8		雀館運動公園相撲場が新築。全県相撲大会が開催。			
8・26		パソコンを使った「コミュニティスクール五城目」がスタート。 広報ごじょうめが全国広報コンクールで入選。 五城目一中女子柔道部が全国大会で第3位に入賞。			
9・11		矢田津世子文学記念室開設5周年記念講演を開催。			
10・1		最低賃金 1日4,757円、1時間595円			
10・16		谷地中の中谷地遺跡を公開。			
10・25		千代田区との姉妹都市提携10周年記念式典を開催。			
10・27		八木下弘氏をふるさと大賞として表彰。			
11・3		町功労者 伊藤準一郎氏(産業)、大石安正氏(産業)、長谷川豊氏(自治)、加藤正松氏(民生)			
11・30		杉沢集会所が完成。			
12・1		大手警察官駐在所が新築移転。(富田字下川原)			
12・3		金野定吉さん(平ノ下)が満100歳。			
12・7		町役場町民談話室で町議会本会議の放送を開始。 ※平成11年産米政府買入れ価格(60㍩当たり1万5,528円)			



農業集落排水事業通水式



中谷地遺跡の発掘調査

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 12年 (2000)	1・24	町議会議員の定数を22人から20人に変更。		<秋田県>
	1・25	馬場目小新校舎、体育館が完成。	3・30	県庁第2庁舎が開庁。
	1・28	馬場目小新校舎、体育館の竣工式を開催。	4・15	由利組合総合病院で県内初の脳死判定。脳死移植へ。
	2・8	中学2年生を対象に立志式を開催。	7・1	秋田空港夜間駐機と東京便の1日7便がスタート。
	2・27	町体育協会40周年記念式典、祝賀会を開催。		※真夏日が連続28日間。観測史上もっとも暑い夏に。
	3・8	平成12年度当初予算決定。(一般会計56億1,300万円)		<国内外>
	3・17	馬川交流センターが完成。	3・31	北海道の有珠山が噴火。
	3・26	町議会議員選挙執行。	4・5	森内閣が成立。
	4・1	介護保険制度がスタート。	5・7	ロシア大統領にプーチン氏が就任。
		過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域に指定。	6・25	第42回衆議院議員選挙執行。
	4・6	第28代町議会議長に工藤卓美氏、副議長に草皆隆悦氏就任。	7・8	三宅島雄山が噴火。9月2日には全島避難勧告が発令。
	4・18	田町火災発生。住家7棟、非住家1棟が全焼。	7・21	九州・沖縄サミット首脳会合を開催。(～23日)
	6・1	町のホームページを開設。	9・15	シドニーオリンピックが開幕。
		児童手当の支給を小学校就学前まで拡大。		
	7・17	第14代助役に石井一夫氏を選任。		
	7・22	中華人民共和国遼寧省大窪県人民政府の代表が本町を視察。		
	8・1	福祉医療制度を改正。小学校就学前までの医療費が無料に。		
	9・19	町過疎地域自立促進計画を策定。		
	9・30	最低賃金 1日4,795円、1時間600円		
	10・1	国勢調査実施。(人口12,372人、世帯数3,880世帯)		
10・6	町長、議長ら13人が中華人民共和国遼寧省大窪県を視察。(～11日)			
10・12	秋田中央地区広域農道(八郎潟町、河辺町間)が開通。			
10・21	躍進町45周年記念式典を開催。 町功労者 山田國三氏(自治)、千田良次氏(自治、民生)、 新谷國太郎氏(自治)、石井孫一氏(自治)、澤田石榮之助氏 (産業、民生)			



21世紀に向けて頑張る子どもたち

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 13年 (2001)	1・9	町商工会設立40周年記念式典が開催。		<秋田県>
	2・13	町長選挙執行。第13代町長に佐藤邦夫氏が無投票当選。	3・24	県立総合プールがオープン。
	3・1	広報ごじょうめ800号を発行。	4・15	県知事寺田典城氏が再選。
	3・14	平成13年度当初予算決定。(一般会計57億800万円)	5・12	能代港国際ターミナルが供用開始。
		町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅰ「神楽坂」を刊行。	8・16	第6回ワールドゲームズが開幕。 (～26日)
	4・2	ケアセンター五城目(町保健介護支援センター)がオープン。	9・1	湖畔時報創刊50周年記念式典が 開催。
	6・16	ジャスコ五城目ショッピングセンターがオープン。	10・29	秋田空港と韓国を結ぶ国際定期便 が就航。
	7・15	小野ハナさん(浦横町)が満100歳。	11・30	秋田県中央信用金庫が破たん。
	7・16	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害が発生。対策本部を設置し、周辺の5世帯、14人に避難指示。(17日正午)		<国内外>
	8・1	悠紀の国五城目(農林水産物直売・食材供給施設)がオープン。	4・26	小泉内閣が成立。
	8・7	第13代収入役に小林博實氏を選任。	7・29	第19回参議院議員選挙執行。
	11・3	町功労者 佐藤祐治氏(自治、産業)、小野一二氏(教育文化、自治)、田口誠一氏(保健衛生、スポーツ)、伊藤義男氏(民生、産業)	9・11	米中枢同時テロが発生。
		内藤翠雲氏をふるさと大賞として表彰。	9・21	国内初の狂牛病を確認。
11・9	千代田区内神田旭町町会と町町内会長の姉妹提携15周年記念式典を開催。	10・7	米がアフガンへ空爆を開始。	
11・30	五城目保育園創立30周年記念式典が開催。 ※五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。(18年ぶり5度目)	10・15	米で炭疽菌テロが発生。	
		10・29	テロ対策特別措置法が成立。	
				
			農林水産物直売施設 「悠紀の国五城目」がオープン	
平成 14年 (2002)	2・21	「五城目町スポーツ少年団」の設立総会が開催。(加盟登録：14団体)		<秋田県>
	3・1	「市町村合併調査研究チーム～ビジョン21プロジェクトチーム」を設置。	3・20	県が仁賀保、金浦、象潟の3町を県内で初の合併重点支援地域に指定。
	3・13	平成14年度当初予算決定。(一般会計56億6,900万円)	4・1	北東北三県北海道合同事務所が開設。
	3・14	町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅱ「花陰」を刊行。	7・9	平成19年度秋田国体開催が内定。 29日に愛称を「秋田わか杉国体」に決定。
	4・1	町新世紀総合発展計画がスタート。 社会福祉協議会事務所がケアセンター五城目に移転。 学校完全週5日制がスタート。	10・26	日本海東北自動車道の岩城ICと秋田空港IC間が開通。
	4・5	元町長の加賀谷力司氏が逝去。4月17日に合同葬儀・告別式を実施。	11・19	「北東北3県・北海道ソウル事務所」が韓国にオープン。
	4・8	学童保育「すずむしクラブ」を開始。	12・6	ハタハタを「県の魚」に制定。
	4・9	第29代町議会議長に工藤卓美氏、副議長に草皆隆悦氏就任。		<国内外>
	4・10	加賀谷力司氏を町功労者(各分野の向上、進展)として表彰。	1・1	欧州単一通貨「ユーロ」の現金流通が開始。
	4・20	「土曜スクール」を実施。	4・1	ペイオフ制度がスタート。
	4・25	「知事の市町村合併トークin五城目」が開催。		
	4	町防犯指導員を設置。(館岡弘隊長、8名)		
	6・20	国体県予選登山競技が森山で開催。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 14年 (2002)	7・2	町農業委員会委員選挙執行。	5・20	東ティモールが独立し「東ティモール民主共和国」が誕生。
	8・5	住民基本台帳ネットワークシステムの第1次サービスを開始。	5・31	日韓共催のサッカー・ワールドカップが開幕。
	8・16	馬場目ミニバススポ少が東北大会で優勝。	9・17	小泉首相が北朝鮮を訪問し金正日総書記と初の会談。「日朝平壤宣言」に署名。
	8・25	ハンガリーの少年少女4人が来町。	10・15	北朝鮮の拉致被害者5人が一時帰国。
	9・28	日本海沿岸東北自動車道昭和琴丘間(20.7km)が開通。野田地区に五城目八郎潟ICが完成。	12・3	農水省が「コメ政策改革大綱」を策定。
	10・10	土橋傑さんがアジア大会カヤックフォア1,000mで銅メダルを獲得。		
	10・12	県立五城目高創立60周年記念式典が開催。「五高讃歌」が制作。		
	10・15	市町村合併に関する町民との懇談会を開催。(～11月8日)		
	10・19	二木タミエさん(広青苑)が満100歳。		
	11・3	町功労者 猿田日出男氏(民生、産業)、八柳知三氏(教育、自治)、猿田俊雄氏(自治、産業)、長谷川恵一氏(民生、自治)		
	11・8	道の駅五城目がオープン。(県内22番目)		
	11・13	市町村合併に関する町民意識調査を実施。(世帯調査4,109世帯、個人調査3,300人)		
	11・15	NTT東日本が町で高速インターネット「ADSL」のサービスを開始。		
	12・1	ダイオキシン類対策特別措置法により、秋田市への可燃ごみの搬入が開始。		
	12・7	町わらしべ体験塾がスタート。		
	12・14	町水泳協会創立20周年記念式典を開催。		
	12・20	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害の避難指示を一時解除。 ※五城目小学校の電車を廃棄。		
平成 15年 (2003)	2・5	町内全世帯に水切りバケツを配布。(～14日)		
	2・9	五城目一中吹奏楽部木管八重奏が東北大会で金賞を受賞。	4・1	＜秋田県＞ ブラックバスの再放流が禁止。 第1子0歳児の保育料が無料化。(全国初)
	3・12	平成15年度当初予算決定。(一般会計53億3,300万円)	4・14	大森山動物園でニホンイヌワシの自然ふ化に成功。
	3・14	町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅲ「茶粥の記」を刊行。	6・21	県立野球場「こまちスタジアム」がオープン。
	3・20	富津内小閉校式を開催。		
	3・23	杉沢中閉校式を開催。		
	3・25	富津内保育園の開園式、杉沢保育園の休園式を開催。		
	3・30	馬場目ミニバススポ少が全国大会でブロック優勝。		
	3・31	富津内小、杉沢中が閉校。富津内保育園が開園。杉沢保育園が休園。		
	4・1	五城目小と富津内小、五城目一中と杉沢中が統合。 行政改革大綱を策定、実施。(～平成17年度) 馬場目地区統合簡易水道が供用開始。(給水世帯295世帯) 野田・浦横町地区簡易水道が供用開始。(給水世帯99世帯)		
	4・18	五城目町、八郎潟町、井川町の3町で湖東三町合併懇談会を設立。		
	5・16	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害の避難指示を全面解除。 災害対策連絡協議会、町災害対策本部を解散。		
	5・24	第54回県植樹祭を開催。		
6・16	市町村合併に関する町民との懇談会を開催。(町内7か所、～22日)			



野田地区にできた「五城目八郎潟IC」



富津内小学校の閉校式



杉沢中学校の閉校式

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 15年 (2003)	6・16	市町村合併に関する町民意識調査を実施。(5,500人、～25日)	12・15	ミニ市場公募債「北東北みらい債」の申込が開始され、即日完売。
	6・17	幼保一体型施設の建設工事が始まる。		<国内外>
	7・8	南秋広域廃棄物対策協議会が解散。	3・20	米軍がイラクへの攻撃を開始。
	8・4	ハンガリーの少年少女22人が来町。	4・1	日本郵政公社が発足。
	8・6	五城目町・八郎潟町・井川町任意合併協議会が設立。	4・2	新型肺炎(通称・SARS)の発生で、世界保健機関が世界規模で渡航延期を勧告。
	8・11	八郎湖周辺六市町村廃棄物対策協議会を設立。		
	8・25	住民基本台帳ネットワークシステムの第2次サービス、住民基本台帳カードの交付を開始。	6・6	有事関連法が成立。
	9・20	「知事と語ろうハーモニーフォーラム」が開催。	9・24	民主党と自由党が合併し新しい民主党が誕生。
	10・2	第19回東北地区へき地教育研究会秋田大会が杉沢小学校で開催。(～3日)	10・10	改正テロ対策特措法が成立。衆議院が解散。
	10・11	湖東総合病院創立70周年祝賀会が開催。		
	10・14	市町村合併に関する町民との懇談会が開催。(～20日)	11・9	第43回衆議院議員選挙執行。
	10・20	秋田信用金庫と五城目信用金庫が合併。	11・19	第2次小泉内閣が成立。
	10・24	第40回町教育振興大会で米長邦雄永世棋聖の講演会を開催。	12・1	地上デジタル放送が都市圏で開始。
	10・31	五城目町・八郎潟町・井川町合併協議会(法定)が設立。	12・24	米国で牛海綿状脳症(BSE)感染牛が確認され、米国産牛肉などの輸入を一時停止。26日に輸入禁止を正式決定。
	11・3	町功労者 佐々木勝太郎氏(民生、自治)、小玉正文氏(教育、芸術文化) 石川三佐男氏、白澤恵舟氏をふるさと大賞として表彰。		
	12・1	町消防署に高規格救急車が配備。		
	12・7	コールもりやま25周年記念式典が開催。		
	12・9	第1回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。		
	平成 16年 (2004)	1・24	ふるさと大賞受賞記念講演会を開催。	
2・11		帝釈寺集会所の竣工式が実施。	1・1	北東北三県で産業廃棄物税制度を共同導入。
2・16		もりやまこども園(五城目幼稚園・保育園一体型施設)の竣工式を実施。	3・21	県立武道館がオープン。
3・1		五城目町男女共同参画計画を策定。	4・1	国際教養大学が開学。 県立の中高一貫校「横手青陵学院」が開校。
3・10		平成16年度当初予算決定。(一般会計57億361万円)		
3・14		町教育委員会で矢田津世子随想集「思い出の町」を刊行。	7・6	秋田わか杉国体の開催が正式決定。
3・28		町議会議員選挙執行。(史上初の無投票)	7・13	男鹿水族館G A Oがオープン。
3・30		介護老人保健施設「湖東老健」が完成。事業がスタート。	7・16	秋田拠点センター「アルヴェ」がJ R秋田駅東口に完成。
3		五城目小入口の五城目歩道橋を撤去。	7・17	県内でコイヘルペスウイルス(KHV)の感染を確認。
4・1		教育長に小玉孝一氏が就任。 五城目一中で2学期制を導入。	8・6	「ひとめぼれ」の水稲種子への酒米混入が判明。
4・8		第30代町議会議長に千田峯夫氏、副議長に荒川正己氏就任。	9・22	16年産水稲の作況指数が全県で「86」の全国最低に。
4・27		第6回合併協議会で新町の名称を「湖東町(ことうちょう)」に決定。		
5・1		五城目保育園で子育て支援センター「わんぱーく」がスタート。		
6・1		町観光協会で「五城目町観光スタンプラリー」を実施。(～10月31日)		



合併協議会が設置され本格的な協議がスタート

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 16年 (2004)	6・9	菊地酒造店旧酒造工場と菊地家住宅が国の登録有形文化財に登録。	9・26	アテネ・パラリンピックの男子マラソンで高橋勇市選手(横手市出身)が金メダル。
	7・1	広報ごじょうめの「なつかしのごじょうめのわらしだ」(作者 大石清美さん)が100回目の掲載。	11・1	平成の大合併、県内第1号として美郷町が発足。
	7・19	集中豪雨により道路や田んぼなどに被害。		<国内外>
	7・25	第15代助役に石井一夫氏を選任。	1・3	米航空宇宙局(NASA)の無人探査車「スピリット」が火星に着陸。
	8・20	台風第15号が接近。町内全域で停電。(～21日)農作物に塩害などの被害。	1・12	国内で高病原性鳥インフルエンザによる鳥の大量死が発生。
	8・26	知事の市町村懇談会が開催。	4・1	商品価格を消費税込みで表示する方式が義務化。
	8・29	五城目一中吹奏楽部が東北大会で金賞を受賞。	5・21	新食糧法が施行。米の販売が登録制から届出制に。
	9・30	台風第21号が接近。岡本地区で土石流が発生。	5・22	裁判員法が成立。
	10・14	第14回日本美術文化交流協会サミットが開催。	7・11	小泉首相が平壤を訪問。拉致被害者の家族5人の帰国を実現。
	10・31	町功労者 笹尾知氏(保健衛生、児童福祉・教育)、草皆隆悦氏(自治、民生)、荒川要悦氏(自治、社会体育)	9・1	第20回参議院議員選挙執行。
	11・19	町村集会所が完成。	9・18	浅間山が噴火。
	11・26	広青苑・いこいの里開設10年記念式典が開催。	9・18	日本プロ野球で史上初の全試合スト。(～19日)
	12・5	佐々木基了さんが青年海外協力隊員としてエチオピアへ。	10・23	新潟県中越地震が発生。
	12・13	戸籍事務がコンピュータ化。	11・1	20年ぶりに図柄を刷新した新紙幣3種類を発行。
	12・14	第2回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。	11・3	田臥勇太選手がNBA選手として公式戦に初出場。
	12・29	リバーサイド磯ノ目を閉館。		
12・31	合併協議会から井川町が離脱。			
				
		幼保一体型施設「もりやまこども園」		
平成 17年 (2005)	1・5	リバーサイド磯ノ目を町商工会に無償貸与。		<秋田県>
	1・8	町内7地区で町政座談会が開催。(～12日)	3・22	平成の大合併、6新市(北秋田、潟上、大仙、由利本荘、男鹿、湯沢)がスタート。
	1・17	新商工会館の開館式が開催。(旧リバーサイド磯ノ目)	4・17	県知事寺田典城氏が3選。
	2・10	広域五城目体育館の改修工事が始まる。		
	2・20	町長選挙執行。第14代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。		渡邊彦兵衛町長が初登庁
	2・28	合併協議会を廃止。		
	3・10	八郎湖周辺清掃事務組合が設置。		
	3・12	五城目郵便局開局130周年記念講演会が開催。		
	3・18	平成17年度当初予算決定。(一般会計49億2,885万円) 農業委員会の選挙による委員定数を17人から14人に変更。		
	4・1	恋地山荘、恋地スキー場を休業。 町内各小学校で2学期制を導入。 馬場目駐在所・大川駐在所が五城目警察署に統合。 湖東3町商工会が発足。 養護老人ホーム「森山荘」の管理運営を五城目やまゆり会へ移管。 町老人訪問看護ステーションの管理運営を町社会福祉協議会へ移管。 早朝健診と婦人病検診が一部有料化。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 17年 (2005)	4・1	収入役不在のため副収入役を配置。	4・20	県と大王製紙の和解が成立。
	5・16	第16代助役に児玉泰氏を選任。	9・5	第59回全国植樹祭の会場に北秋田市の「北欧の杜公園」が選定。
	5・28	近畿五城目会が発足10周年を迎える。		
	6・1	「町長への手紙」がスタート。 町内の幼稚園、小・中学校、高校で「みんなの登校日」が始まる。	12・25	羽越本線で特急「いなほ」の脱線転覆事故が発生。 <国内外>
	6・6	五城目町史が完成。町ホームページへ掲載が開始。 (～12月1日)	2・17	中部国際空港が開港。
	6・15	広域五城目体育館の改修工事が完成。	4・2	ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が死去。
	6・25	アニマル浜口さんの記念講演会を開催。	4・25	J R 福知山線の脱線事故が発生。
	6	秋田わか杉国体実行委員会が設立。	9・11	第44回衆議院議員選挙執行。
	7・1	馬場目川の特別警戒水位が設定。(久保水位観測所、2.8m)		
	7・5	農業委員会委員選挙執行。		
	7・16	町観光協会が「ほたる観賞ツアーin小倉川」を開催。		
	8・12	町と五城目・内川郵便局が「道路破損等の情報提供に関する覚書」を締結。		
	8・15	きゃどっこまつりと全町盆踊り大会を同日・同会場で開催。		
	8・22	秋田地方法務局五城目出張所が同局登記部門に統合。		
	8・29	アスベスト除去工事のため町民センターを休館。		
	9・11	五城目一中吹奏楽部が東北大会小編成の部で金賞を受賞。		
	9・13	五城目小入口交差点の信号機が「歩車分離式」に変わる。		
	9・26	町身体障害者協会創立55周年記念大会が開催。		
	9・30	新しい馬場目岳山頂避難小屋が完成。		
	10・1	国勢調査実施。(人口11,678人、世帯数3,891世帯) 町相撲連盟創立40周年記念式典が開催。		
	10・8	五城目一中吹奏楽部が東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞。		
	10・18	福祉バス「森山号」を廃止。		
	10・20	杉沢小跡地利活用検討委員会を設置。		
	11・3	町合併50周年記念式典を開催。 町功労者 阿部三郎氏(自治、教育)、北島宇一郎氏(民生、産業)、小玉郁夫氏(自治、産業)		
	11	地域雇用創造協議会を立ち上げ。(商工会、JA、企業連絡懇談会、町)		
	12・1	「五城目町自立計画」を策定。		
	12・11	中心市街地活性化を進める「株式会社あったか五城目」が設立。		
12・14	第3回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
12・16	役場の年末年始の休日を12月31日から1月5日までに変更。 町議会議員の定数を20人から16人に変更。			
12・24	雪害警戒対策室を設置。(12月21日～24日の積雪量64cm)			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 18年 (2006)	1・5	豪雪対策本部を設置。(1月4日夜から76㌢の大雪。積雪量137㌢)		 <p>協働で豪雪を乗り越えました</p> <p><秋田県> 2・10 乳頭温泉郷「鶴の湯温泉」で雪崩が発生。 3・3 県婦人会館で約7,000万円の使途不明金が判明。 4・10 藤里町の川岸で小4女児の遺体が発見。5月18日には小1男児の遺体も発見され児童連続殺人事件に発展。 8・1 小松由佳さんが世界第二の高峰K2へ日本人女性として初登頂。 9・5 郡市対抗野球大会でTDKが日本一に。 9・12 皇太子殿下が来県。本荘・由利地方を視察される。 10・3 八峰町峰浜庁舎が全焼。 10・23 大仙市で男児殺人事件が発生。 ※11月以降、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が急増。 <国内外> 7・5 北朝鮮が「テポドン2号」を含む7発のミサイルを発射。 7・14 日銀がゼロ金利解除を決定。 8・24 冥王星を惑星から格下げ。 9・6 秋篠宮ご夫妻に長男が誕生。悠仁さまと命名。 9・15 オウム真理教松本智津夫被告の死刑が確定。</p>  <p>121年の歴史に幕を閉じた杉沢小学校</p>
	1・14	豪雪対策本部を豪雪災害対策本部に切り替える。		
	1・27	千代田区から豪雪の災害見舞金をいただく。(千代田区の各種団体やふるさと五城目会からもたくさんのお見舞いをいただく)		
	2・7	各地区町政座談会を開催。(～2月16日、7地区)		
	2・22	豪雪災害対策本部を雪害警戒対策室に切り替える。		
	2・25	杉沢小学校の閉校式を開催。 株式会社あったか五城目が「朝市あったかサロン」をオープン。		
	3・16	町消防団の全分団に小型動力ポンプ付積載車が導入配備。		
	3・23	平成18年度当初予算決定。(一般会計46億7,700万円)		
	3・26	第8回東北親善川柳大会が開催。		
	3・27	雪害警戒対策室を廃止。		
	3・28	内川、富津内地区で高速インターネット「ADSL」のサービスが開始。		
	3・31	杉沢小が閉校。 町開発公社が解散。		
	3	第3次行政改革推進プログラム(集中改革プラン)を策定。 ドイツ・アメリカからの留学生2人が町にホームステイ。		
	4・1	雀館児童館、内川児童館、築地町児童館を廃止。 役場の組織機構の見直しで「まちづくり課」を設置。 寿条例を改正。(90歳と100歳の方に長寿祝金を支給) 馬場目小と杉沢小が統合。		
	4・1	旧杉沢小中学校校舎が「教育福祉活動センター」としてスタート。 赤倉山荘、盆城庵を町直営で営業開始。 指定管理者の株式会社あったか五城目が五城館の営業を開始。		
	4・12	第31代町議会議長に千田峯夫氏、副議長に荒川正己氏就任。		
	5・1	アスベスト除去などで中止していた町民センターの使用を再開。		
	5・22	町役場職員でパトロールチームを編成し、小中学校の下校時間に通学路を巡回。		
	6・11	町観光協会が第26回県総合錦鯉品評会を開催。		
	6・23	五城目タンス組合が千代田区新庁舎の家具類の製作を契約。		
	7・1	休日・夜間の役場庁舎管理を警備会社に委託。		
	8・1	指定管理者のいそうら直売会が悠紀の国五城目の営業を開始。		
	8・9	八郎潟町からの要請で給水などの支援を行う。		
9・2	町観光協会が「もりやまウオーク」を開催。			
9・16	農事組合法人「山ゆり」が設立。(小林正志代表理事)			
9・21	教育長に伊藤恵朗氏が就任。			
9	五城目一中改築基本構想を策定。			
10・24	千代田区議会議員11人が議員研修で来町。			
10・26	株式会社あったか五城目が朝市通り一方通行などの社会実験を実施。(～11月25日)			
10・29	町功労者 伊藤幸雄氏(教育、産業)			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 18年 (2006)	10・31	まちのにぎわいづくりシンポジウムが開催。	9・26	安倍内閣が成立。
	11・1	湖東3町商工会が共通商品券を販売。	10・9	北朝鮮が地下核実験を実施。
	11・17	ワンダフルあきたカルチャーフェスティバルin五城目が開催。(～20日)	10・24	携帯電話の番号継続制がスタート。
	11・29	旧富津内小、旧富津内保育園の解体工事を開始。	12・15	改正教育基本法が成立。
	12・1	イオンスーパーセンター五城目店と災害時の協力に関する協定を締結。	12・30	イラクのフセイン元大統領の死刑が執行。
平成 19年 (2007)	1・15	旧富津内小、旧富津内保育園の解体工事が完了。	 <p>天皇・皇后両陛下ご来町</p> <p><秋田県></p> <p>2・10 秋田わか杉国体冬季大会が開幕。(～13日)</p> <p>3・5 八郎湖の水質改善を目指し、防潮水門を開き湖水を放出する試験を開始。</p> <p>9・15 地下自動車専用道路「秋田中央道路」が開通。</p> <p>9・29 秋田わか杉国体が開幕(～10月9日)し、本県選手団が天皇杯と皇后杯を獲得。</p> <p>10・13 秋田わか杉大会が開幕。(～15日)</p> <p>10・24 文科省が全国学力・学習状況調査の結果を公表。本県はトップクラスの好成績。</p> <p>11・22 県南を中心に11月としては異例の大雪。</p> <p><国内外></p> <p>2・18 日本初の大規模都市型マラソン「東京マラソン」が開催。</p> <p>4・24 全国学力・学習調査が実施。</p> <p>5・14 国民投票法が成立。</p> <p>7・29 第21回参議院議員選挙執行。民主党が参院第一党に。</p> <p>9・12 安倍晋三首相が退陣表明。</p>  <p>秋田わか杉国体レスリング競技を開催</p>	
	1・21	エチオピアから帰国した佐々木基了さんの帰国報告会が開催。		
	2・10	秋田わか杉国体リハーサル大会として、高松宮杯東北高等学校レスリング大会を開催。(～11日)		
	2・20	町が全国優良町として表彰を受ける。		
	2・22	光ファイバ誘致について株式会社あったか五城目とともに要望書を提出。		
	2・28	町が交通死亡事故ゼロ1,000日を達成。		
	3・14	平成19年度当初予算決定。(一般会計45億6,000万円)		
	3・15	千代田区新庁舎お披露目式が開催。		
	3・17	町観光協会40周年記念式典が開催。		
	3・31	内川保育園が休園。		
	4・1	役場の組織機構を見直し。それぞれ2課ずつを統合し、町民福祉課、産業課、建設課を設置。ケアセンター五城目の保健介護担当職員が役場庁舎へ移動。		
		町役場庁舎内に地域包括支援センターを設置。		
		各地区町内会長会を指定管理者とした各地区公民館の管理運営がスタート。		
		指定管理者の合地町内会が盆城庵の営業を開始。		
		助役の呼称が副町長に改正。		
		協働のまちづくり支援制度がスタート。		
		広報ごじょうめの表紙・裏表紙が2色印刷に。		
		町食生活改善推進協議会が発足。(坂谷晃会長)		
	4・17	千代田区新庁舎へ檜テーブルを寄贈。		
	5・23	町農村生活研究グループが「畑の学校」を開講。		
6・10	秋田わか杉大会のリハーサル大会を開催。			
6・30	矢田津世子生誕100年記念として特別講演を開催。			
7・9	五城目一中第二体育館などの解体工事に着手。			
8・8	「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催。			
8・15	きゃどっこまつりが20回の節目を迎える。			
8・31	五城目一中創立60周年記念式典が開催。			
9・3	五城目局(852局、一部を除く)で光ファイバ通信「Bフレッツ」のサービスが開始。			
9・15	佐々木シエさん(岡本1区)が満100歳。			
9・17	16日からの豪雨により川がはんらん。町に大きな被害。(3町内に避難勧告、床上浸水5戸、床下浸水26戸)			
9・21	秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の大会旗・炬火リレーが開催。			
9・27	千代田区から豪雨の災害見舞金をいただく。(ふるさと五城目会などからもお見舞いをいただく)			
9・30	天皇・皇后両陛下がご来町。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 19年 (2007)	10・5	秋田わか杉国体成年男子レスリング競技会が開催。 (～8日)	10・1	日本郵政公社が民営化。
	10・13	秋田わか杉大会バレーボール競技会聴覚障害者の部が開催。 (～15日)	11・2	テロ対策特別措置法が失効。
	10・28	常陸宮殿下・同妃殿下がご来町。 第22回国民文化祭とくしま2007大会の川柳部門で大石一 粋さんの作品が第1位に。		
	11・1	第2代副町長に武田和栄氏を選任。		
	11・3	町功労者 小玉久男氏(教育)、館岡正一氏(自治、産業)		
	11・30	五城目一中の建設工事に着手。		
	12・1	五城目やまゆり会へ森山荘を譲与。 本町部の8町内会が町中心市街地排雪対策協議会を設立。		
	12・10	工藤キクノさん(浅見内)が満100歳。		
	12・18	首相官邸で渡邊町長に地域再生計画の認定書が授与。		
平成 20年 (2008)	1・1	広報ごじょうめの表紙と裏表紙が4色印刷に戻る。		<秋田県>
	2・1	八郎湖周辺クリーンセンター(男鹿市)の試験稼働が開始。 ごみの出し方や分け方、収集日が一部変更。	3・25	水稻の新品種「ゆめおぼこ」を奨励品種に採用。
		五城目小学校へのスクールバス試験運行を実施。	4・28	十和田湖畔のハクチョウの死がいはら、本県で初となる鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)が確認。
	2・12	灯油価格高騰のため高齢者世帯などに福祉灯油引換券を支給。	5・1	比内地鶏偽装事件が発生。
	2・29	町やまゆり栽培研究会設立10周年記念式典が開催。	5・30	東京アンテナショップ「あきた美彩館」が品川駅前にオープン。
	3・10	平成20年度当初予算決定。(一般会計54億3,900万円)	6・1	水と緑の森づくり税がスタート。
	3・13	矢田津世子生誕100年を記念した「やまゆり作文コンテスト」の表彰式を実施。	6・14	岩手・宮城内陸地震発生。湯沢市、東成瀬村で震度5強。
	3・16	町体育協会50周年記念式典が開催。	6・15	北秋田市で全国植樹祭が開催。
	3・23	町議会議員選挙執行。	8・29	全国学力テストで2年連続トップ級の成績。
	3・24	町地域公共交通協議会が設立。		十和田湖の県境に合意。(秋田4・青森6)
	3・25	『「五城目」のにぎわいづくりを考えるつどい』が開催。	10・29	ジョイフルシティ3店が閉店。
	4・1	役場1階に保健室ができる。 八郎湖周辺クリーンセンターが本格稼働。 老人保険制度が後期高齢者医療制度に変わる。 基本健康診査が特定健康診査に変わる。 ふるさと納税制度が始まる。	11・2	八郎瀧町川崎地区で竜巻と見られる突風が発生。
	4・3	第32第町議会議長に荒川正己氏、副議長に澤田石亀雄氏就任。	12・25	寺田県知事が全国学力テストの市町村別結果を公表。
	4・25	町キイチゴ研究会が発足。(佐川誠会長、会員25人)		<国内外>
	5・1	菅原ヒテさん(広青苑)が満100歳。 戸籍窓口で本人確認が必要に。	4・1	道路特定財源の暫定税率の期限切れでガソリンが値下げに。
	5・10	安田サトさん(森山荘)と嶋崎庄治さん(下樋口)が満100歳。	9・1	福田康夫首相が退陣表明。
	5・27	「県農山村活力向上モデル地域」に恋地・坊井地・杉沢・合地の4集落が選ばれる。	10・27	株価がバブル崩壊後の最安値を更新。
	5・28	チャレンジデーへ町が初参加。(参加率46.0%)		
	6・7	ボランティアを募り雀館多目的広場の芝張りを実施。(～8日、参加者約350人)		
	6・8	町水防講習会を開催。		
	6・25	町酒米研究会が発足。(伊藤正春会長、会員10人)		
	7・1	農業委員会委員選挙執行。		
	7・11	第1号となる町への「ふるさと愛郷寄附金」をいただく。		
	7・12	町が交通死亡事故ゼロ1,500日を達成。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 20年 (2008)	7	インターネット公売を実施。		
	8・9	広報連載150号記念「ごじょうめのわらしだ色紙原画展」が開催。(～17日)		
	8・10	馬場目北ノ又集落やネコバリ岩などで、映画「釣りキチ三平」の撮影が行われる。(～19日)		
	8・31	森山登山競技会ともりやまウオークが同日開催。		
	9・1	広報ごじょうめの「なつかしのごじょうめのわらしだ」(作者 大石清美さん)が150回目の掲載。 町消防団が内閣総理大臣表彰を受賞。(平成19年豪雨災害時の活動)		
	9・4	町酒造好適米販売確認書締結式が開催。		
	9・19	杉沢地区でNTTドコモが携帯電話通話サービスを開始。		
	10・1	馬場目線バス路線の代替交通として予約式乗合タクシーの実証運行がスタート。		
	10・12	第8回全国障害者スポーツ大会の卓球競技(聴覚障害者の部)で伊藤賀津雄さんが金メダル。		
	10・15	町観光協会とノースアジア大学が観光に関する連携協定に調印。		
	11・1	町功労者 伊藤建一氏(自治、産業)、館岡金男氏(自治)		
	11	町自立計画を改訂。		
	12・7	ふるさと五城目会創立20周年記念式典が開催。 コールもりやま結成30周年記念「みんなで歌おう会」が開催。 小玉テツエさん(広青苑)が満100歳。		
	12・8	第6回あきたふるさと手作りCM大賞で最優秀賞を獲得。		
	12・10	伊藤カネノさん(畑町)が満100歳。		
	12・19	五城目テレビ中継局(薬師山)から地上デジタル放送電波の発射が開始。		
	12・20	健康と食を考える集いを開催。(講師 工藤進英氏、渡辺広子氏)		
	12・21	五城目一中新校舎の見学会を開催。		
	平成 21年 (2009)	2・5	東北ふるさとCMフェスティバル2009に県代表として参加。	
2・15		町長選挙執行。第15代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。	1・21	
2・23		五城目一中新校舎建設工事が完了。		
3・3		町食育推進計画を策定。(県内第1号)	4・12	
3・16		平成21年度当初予算決定。(一般会計54億2,900万円)	4・28	
3・20		町がロケ地となった映画「釣りキチ三平」の上映が開始。		
3・30		定額給付金・子育て応援特別手当の申請受付を開始。	6・11	
4・1		指定管理者の株式会社東北ダイケン秋田支店が赤倉山荘の管理運営を開始。(改装のため営業開始は7月1日から) 「五城目町雀館多目的広場」が供用開始。	9・2	
4・5		五城目一中新校舎の完成見学会を開催。	10・1	
4		一部患者の救急搬送が湖東総合病院から秋田市の病院に移行。		
5・17		映画「釣りキチ三平」ロケ地観光バスツアーを開始。	10・7	
6・6		広域五城目体育館で映画「釣りキチ三平」の上映会を開催。	10・13	



町が映画「釣りキチ三平」のロケ地に

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 21年 (2009)	7・12	秋田追分全国大会が20回の節目を迎える。	11・3	日沼頼夫さん(八峰町出身)が文化勲章を受章。
	7・19	18日からの豪雨により川がはらん。町に大きな被害。(1町内に避難勧告、床下浸水7戸)	11・28	新型インフルで県内初の死者。
	7・23	五城目一中屋内運動場の建設工事がスタート。		<国内外>
	8・8	高性寺ジャズインプレッションが開催。	1・20	アメリカ史上初の黒人大統領、オバマ大統領が誕生。
	8・14	千代田区から豪雨の災害見舞金をいただく。	3	高速道路で1,000円乗り放題割引(E T C使用、土日祝日)がスタート。
	9・25	五城目朝市フォトコンテストが開催。	4・5	北朝鮮が長距離弾道ミサイル発射。
	9・29	北村、高樋地区でNTTドコモが携帯電話通話サービスを開始。	5・21	裁判員制度がスタート。
	10・1	乗合タクシー馬場目線の本格運行がスタート。	8・30	第45回衆議院議員選挙執行。民主党が308議席を獲得し第1党に。
	10・18	「秋田の再生」をテーマにシンポジウムを開催。	9・16	民主党、社民党、国民新党による鳩山連立内閣が成立。
	10・22	新型インフルエンザワクチン接種の助成を開始。		
	10・23	千代田区で姉妹提携20周年記念式典を開催。		
	10・28	新嘗祭に加藤光儀さんが粟を献穀。		
	11・3	町功労者 猿田一美氏(自治)、伊藤重郎氏(自治)、伊藤久夫氏(民生、産業)		
	11・9	「三平の家」の来場者が10,000人を突破。		
	11・12	天皇陛下御在位20周年記念式典に伊藤容一郎さん(大嘗祭悠紀齋田の大田主)が出席。		
	11・15	内川小閉校記念式典を開催。		
11・28	千代田区との児童交流事業モニターツアーを開催。(～29日)			
12・7	第7回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
平成 22年 (2010)	2・4	「湖東総合病院の医師確保と早期移転改築を求める署名」を県知事とJA秋田厚生連へ提出。(町の署名9,324人分、計27,367人分)	1・29	<秋田県> 県が独自の緊急支援「地域水田農業支援緊急対策」を発表。
	2・14	一ノ関晃多さんが全国建築板金競技大会で優勝。	4・1	J A全農あきたが新品种「ゆめおぼこ」の精米販売を開始。
	2・26	五城目一中屋内運動場建設工事が完了。		<国内外>
	3・13	町ふるさとを語る同友会創立10周年記念祝賀会が開催。	2・12	バンクーバー冬季オリンピック開幕
	3・15	平成22年度当初予算決定。(一般会計52億6,300万円)	5・18	□蹄疫の流行で宮崎県が非常事態宣言
	3・21	五城目一中屋内運動場の見学会を開催。	6・13	小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球に帰還
	3・24	町消防団が県知事表彰旗を受章。	7・11	第22回参議院議員選挙執行。
	3・29	湖東病院を守る住民集会在開催。	8・5	チリ鉱山落盤事故発生。地下の作業員33人が69日ぶりに全員救助
	3・31	内川小が閉校。 森林資料館「五城目城」下の斜面にソーラーパネルを設置。	9・7	尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突
	4・1	高樋線バス路線の代替交通として予約式乗合タクシーの実証運行がスタート。 五城目小と内川小が統合。 住宅リフォームへの助成を開始。 湖東総合病院が時間外の救急外来受付を中止。	10・6	ノーベル化学賞に根岸英一、鈴木章両氏受賞
	4・2	赤レンガ倉庫跡地建物施設の一部を一時開放。(朝市開催日の午前中)		
	4・3	「五城目町循環バス」の試験運行がスタート。		
	4・5	第33代町議会議長に荒川正己氏、副議長に澤田石亀雄氏就任。		
	4・24	農家レストラン「清流の森」がオープン。		
	5・5	こどもの日全国少年野球教室が開催。		
	6・1	エンゼルタクシー券の交付を開始。		



五城目町・千代田区姉妹提携20周年記念式典

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
8	・ 1	<p>杉沢交流センター「友愛館」(旧教育福祉活動センター)がオープン。</p> <p>指定管理者の清流の会が農家レストラン「清流の森」、「盆城庵」の営業を開始。</p>		 <p>135年の歴史に幕を閉じた 内川小学校</p>
8	・ 6	五城目町・千代田区児童双方向交流事業を千代田区で開催。(～8日)		
10	・ 1	国勢調査実施		
10	・ 31	<p>町合併55周年記念式典を開催。</p> <p>町功労者 小熊金之助氏(自治)、小熊正明氏(教育、芸術文化)、小玉康夫氏(教育、芸術文化)、猿田和男氏(自治、スポーツ、芸術文化)</p>		
8	・ 2	レイチェル・リードさん(アメリカ出身)が町の外国語指導助手に就任。		
8	・ 15	「しょくいくのうた」が完成し、きゃどっこまつりで発表。		
10	・ 1	国勢調査実施。町の人口は10,516人(男4,874人、女5,642人)。		
11	・ 3	五城目一中新校舎しゅん工式、記念植樹、記念行事を開催。		
12	・ 1	馬場目・富津内・内川地区で光ブロードバンドサービスが開始。		 <p>盆城庵となりにオープンした 農家レストラン「清流の森」</p>
12	・ 5	町グラウンドゴルフ協会が創立20周年を迎え、記念式典を開催。		
		 <p>五城目第一中学校新校舎が完成！</p>		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 23年 (2011)	1・24	町農業委員の定数を20人から18人に削減。		<秋田県>
	3・11	午後2時46分、マグニチュード9.0の東日本大震災が発生。町では震度4を記録。全町で停電(～12日)。町老人クラブ員ら36人が岩手県大槌町で被災。	3・11	東日本大震災発生。県内でも震度5強。停電などで生活が混乱。
	3・12	地震の影響により、全町で断水(～13日)。	4・7	東日本大震災の余震。県内陸南部で震度5強を観測。再び停電。
	3・13	町老人クラブ員らが大槌町から帰町。	8・15	能代商高が甲子園で県勢14年ぶりに初戦突破。2回戦も快勝。
	3・14	平成23年度当初予算決定。(一般会計50億4,400万円)	11・2	クニマスが縁で田沢湖と山梨県富士河口湖町の西湖が姉妹湖提携。
	3・27	姉妹都市の千代田区へ飲料水13.2トンを搬送。	12・9	秋田市の弁護士刺殺事件に判決。
	4・1	役場組織機構改革により、課と係を変更・新設。富津内地区予約式乗合タクシーの本格運行を開始。五城目朝市ふれあい館がオープン。大川保育園の運営を社会福祉法人キッズハウスもりやまに移管。	2・6	八百長問題で大相撲春場所が中止。
	4・7	渡邊町長、荒川議長らが大槌町を訪問。義援金と野菜などを届ける。午後11時32分、宮城県沖で大きな余震が発生(M7.1)。町では震度5弱を記録、全町で停電(～8日)。	3・11	東日本大震災発生。観測史上最大のM9.0、最大震度7。巨大津波により沿岸部中心に壊滅的被害。東京電力福島第一原子力発電所事故。
	4・10	県議会議員選挙が執行。南秋田郡選挙区で平山晴彦さん(西磯ノ目)が当選。	6・24	小笠原諸島が世界自然遺産に登録決定。
	5・10	町都市計画マスタープランを策定。	6・26	平泉が世界文化遺産に登録決定。
	5・12	五城目朝市ふれあい館のしゅん工式を実施。施設前のだまこマンファミリー石像がお披露目。	7・17	サッカー女子ワールドカップドイツ大会で、なでしこジャパンが初優勝。
	5・20	石井ハルエさん(黒土1区)が100歳に。	7・24	アナログ停波、地上デジタル放送に完全移行。
	6・29	馬場目小の五城目小への統合を、平成25年4月に決定。	10・31	円が戦後最高値を更新。1ドル75円32銭。
	7・5	町農業委員会一般選挙を告示。3選挙区13人が無投票当選。		
	7・24	テレビのアナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ移行。		
	7・31	悠紀の国五城目の10周年祭を開催。		
	8・4	町消防庁舎建設協議会を設置。新消防庁舎建設の協議を本格的に開始。		
	8・25	湖東総合病院の改築着手の方針がJ A秋田厚生連から示される。		
	9・21	猿田大輔さん(館町)が全建総連全国青年技能競技大会で銀賞を獲得。		
	10・13	一関アイノさん(広青苑)が100歳に。		
	11・1	副町長に武田和栄さんが再任。		
	11・3	小林進さん(下山内)と佐々木廣志さん(田町)を町功労者として表彰。		
	11・6	町米消費拡大地域活動推進委員会のだまこ鍋が、全国ご当地鍋フェスタで準グランプリを獲得。		
	11・10	加賀屋フツエさん(東磯ノ目)が100歳に。		
	11・13	ふるさと応援やまゆり大使にふるさと五城目会会員ら32人を委嘱。		
	11・14	工藤ヨネさん(昭辰町)が100歳に。		
11・15	町道西野矢場崎線が完成し、全線が開通。			
11・25	五城目保育園が設立40周年を迎え、記念式典を開催。			
12・10	第9回あきたふるさと手作りCM大賞2011で最優秀賞を獲得。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 24年 (2012)	1・23	湖東総合病院が平成26年5月開院予定などの改築日程などが報告される。		<秋田県>
	2・1	北嶋マツさん(広青苑)が100歳に。	12・1	玉川温泉で雪崩事故、岩盤浴の客3人死亡。
	2・3	松橋テツノさん(広青苑)が100歳に。	4・20	八幡平クマ牧場でヒグマに襲われ女性2人が死亡。
	2・18	鷲谷ナカさん(大川2区)が100歳に。	7・21	秋田市中央街区にエリアなかいちが開館。
	2・24	町老人クラブの会員らが、大槌町へ手作りの灯笼230個を贈る。	8・12	ロンドン五輪で県出身選手が活躍。
	3・9	平成24年度当初予算決定。(一般会計50億3,500万円)	12・4	男鹿水族館のホッキョクグマに赤ちゃんが誕生。
	3・18	錦織ヨネさん(広青苑)が100歳に。	12・16	衆院選本県3小選挙区で自民党が議席を独占。
	3・25	町議会議員選挙を執行。現職11人、新人5人の16人(男15人、女1人)が当選。投票率は77.27%。		<国内外>
	3・29	町浄水場に自家発電設備を設置。	5・22	東京スカイツリーが開業。
	3・30	村上 一さん(新畑町)が100歳に。	7・27	ロンドンオリンピックが開幕。
	4・1	新しい町総合発展計画を策定。 町役場の開庁時間を午後5時15分までに短縮。	9・11	尖閣諸島国有化により日中関係が悪化。
	4・18	齊藤エシさん(浦横町)が100歳に。	12・10	i P S 細胞開発の山中伸弥氏、ノーベル医学生理学賞を受賞。
	4・25	町幼保一体化推進協議会を設立。	12・16	衆院選で自民党が圧勝し、第2次安倍内閣が誕生。
	5・23	千代田区に五城目町東京千代田事務所を開設。		
	6・19	馬場目川水系土地改良区の発足を目指し、3土地改良区が合併予備調印。		
	7・19	国民文化祭五城目町実行委員会を設立。		
	8・27	弘前大学人文学部との共同研究で中山遺跡発掘調査を実施。(～9月21日)		
	8	緊急速報メールを導入。		
	10・1	町教育長に伊藤恵朗さん(紀久栄町)が再任。		
	10・13	県立五城目高が創立70周年を迎え、記念式典を開催。		
10・30	皇太子殿下がご来町。			
11・1	ごじょうめのわらしだが広報連載200回を迎える。			
11・3	伊藤英紀さん(岡本二区)と伊藤容一郎さん(石崎)、石井章司さん(黒土)を町功労者として表彰。			
11・24	馬場目小閉校式を開催。			
12・8	第10回あきたふるさと手作りCM大賞で最優秀賞を獲得。			
12・9	県道秋田八郎瀧線館越バイパスが開通。			
平成 25年 (2013)	1・7	地域おこし協力隊員として河原崎彩子さん(京都府出身)が着任。	9・28	<秋田県> 新県立美術館が本オープン。
	2・17	町長選挙を執行。第16代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は74.95%。	3・16	秋田新幹線『スーパーこまち』が運行開始。
	2・28	近藤乃愛さん(五城目小4年)が全国学生書き初め展覧会で文部科学大臣賞に輝く。	5・1	男鹿水族館の小ぐま『ミルク』を一般公開。
	3・14	平成25年度当初予算決定。(一般会計51億5,400万円)		<国内外>
	3・28	上山内地区農業集落排水を公共下水道に接続。	1・8	大阪市内の公立高校で男子生徒の自殺をきっかけに体罰が社会問題化。
	3・31	馬場目小が閉校。 馬場目保育園が閉園。	3・15	日本、TPP交渉に参加を表明。
	4・1	五城目小と馬場目小が統合。 町教育長に小松正孝さん(館町)が就任。 乗合タクシー内川線・面瀧線の試験運行を開始。 森林資料館五城目城の無料開放を開始。 町で特定不妊治療の助成を開始。	4・4	アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高。
	4・24	湖東総合病院改築工事の安全祈願祭が行われる。	5・5	長嶋茂雄さんと松井秀喜さんに国民栄誉賞。
			6・22	富士山が世界遺産に登録。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 25年 (2013)	5・1	町で雇用奨励金制度を開始。	7・21	参院選で自民圧勝、「ねじれ」解消。
	5・12	町の観光PRキャラクターだまこちゃんが誕生。	9・7	2020年夏季五輪・パラリンピック、東京開催決定。
	5・25	加藤タケノさん(広青苑)が100歳に。	10・1	消費増税、14年4月実施を決定。
	5・31	五城目小校舎建築基本構想検討委員会を設立。	11・3	プロ野球・楽天がチーム発足以来初の日本一に。
	5・31	町の都市計画を変更。		
	7・1	風しん予防接種費用の全額助成を開始。		
	7・22	地域おこし協力隊として橋本千賀子さん(和歌山県出身)が着任。 ヤマト運輸(株)と災害時の物資輸送の協力協定を締結。		
	8・1	町内会活動等実態調査を実施。		
	8・2	アメリカ出身のブライス・アシュリンさんが町の外国語指導助手(A L T)に就任。		
	8・26	弘前大学人文学部との共同調査・研究で中山遺跡発掘調査を実施。(～9月13日)		
	8・27	秋田銀行と災害発生時の協力協定を締結。		
	9・2	五城目警察署と災害発生時の協力協定を締結。		
	9・4	屋内温水プールで水中運動教室を開講。		
	10・11	男鹿市・潟上市・南秋田郡の消防広域化協議を凍結。		
	10・15	みんなの店 あさいちが朝市通りにオープン。		
	10・20	国文祭1年前プレイベントとして五城目朝市きのこまつりを開催。 五城目G級グルメまつり・第1回だまこ鍋合戦が開催される。		
	10・27	五城目朝市500年記念マラソン大会が20回の節目を迎える。		
	10・28	地域活性化支援センターがオープン。		
	11	町の全71町内会を対象とした町内会ワークショップが始まる。		
	11・3	坂谷晃さん(広ヶ野)と草皆稔さん(帝釈寺)、渡邊誠一さん(新畑町)を町功労者として表彰。		
11・5	高規格救急車を追加配備し、救急車2台体制での運用を開始。			
11・8	子ども・子育て会議の設立会議を開催。			
12・9	議会映像配信システムの運用を開始。			
平成 26年 (2014)	2	福祉灯油引換券を交付。		<秋田県>
	2・2	高橋テツエさん(森山荘)が100歳に。	10・4	国民文化祭が開催。秋田の魅力を発信(～11日)。
	2・28	秋田中央郵便局・五城目郵便局・内川郵便局と災害発生時の対応と平常時における高齢者等見守り活動の相互協力に関する協定を締結。	12・14	第47回衆院選、自民が小選挙区独占。
	3	役場庁舎内に公衆無線LANを整備。	3・25	秋田ノーザンハピネッツ躍進、東地区を制覇。
	3・1	屋内温水プールの秋田県市町村未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修開始。	3・15	『こまち』すべてE6系に。
	3・13	平成26年度当初予算決定。(一般会計59億7,800万円)	3・15	『あけぼの』定期運行終了。
	3・16	加藤タミエさん(広青苑)が100歳に。		<国内外>
	4・1	幼保連携型の認定こども園もりやまこども園がスタート。 消費税増税に伴い町の公共料金を変更。 乗合タクシー内川線・森山線が本格運行を開始。全線で小中学生の利用料が無料に。	2・7	ソチ冬季オリンピックが開幕。
			4・1	消費税を5%から8%に引き上げ。
	5	地域おこし協力隊として柳澤龍さん(東京都出身)、丑田香澄さん(秋田市出身)、石田万梨奈さん(東京都出身)が着任。	6・1	消費税率10%への引き上げ延期を発表。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
	5・1	湖東厚生病院が開院。	6・21	富岡製紙工場が「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界文化遺産に登録。
	5・3	猿田ハルさん(樋口)が100歳に。		
	5・7	秋田県未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる町内会からの交付金申請受付を開始。	9・23	「イスラム国」が勢力拡大、有志連合空爆。
	5・22	大川小の統合についての地区住民説明会を開催。		
	5・30	町のフェイスブックによる情報配信を開始。	9・27	御嶽山が噴火、57人死亡6人不明。
	6	五城目小建築検討委員会を設立。		
	6・30	臨時福祉給付金、子育て世帯特例給付金の申請を開始。	10・7	赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏にノーベル物理学賞の授与を発表。
	7・1	町農業委員会委員の任期満了に伴う一般選挙の告示。3選挙区13人が無投票当選。	12・14	衆院選で与党圧勝。自公で3分の2超の326議席確保。
	8・19	石井トミエさん(蓬内台)が100歳に。		
	9・23	弘前大学と町教育委員会が共同で中山遺跡と八郎潟の亀ヶ岡文化研究発表会を開催。	12・1	7年ぶりの円安・株高。
	9・28	第1回秋田市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン! で町チームが町の部第5位入賞。		
	10・	12町村の電算共同化により基幹系システムが共同化を開始。納付書の一部でコンビニ納付が可能に。		
	10・11	国文祭全国朝市サミット2014in五城目を開催。(～12日)		
	10・20	町と県LPガス協会が協力協定を締結。		
	10・22	秋田県未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる在宅支援講演会を開催し中鉢湖東厚生病院院長が講演。		
	11・3	佐藤信さん(川原町)と伊藤恵朗さん(新畑町)を町功労者として表彰。		
	11・16	大川小閉校式典を開催。		
	12・1	集落支援員として長谷川成美さん(山形県出身)が着任。		
平成27年(2015)	1・15	佐藤テツエさん(谷地中)が100歳に。		<秋田県>
	1・21	災害時の復旧に向けて、東北地方整備局秋田河川国道事務所と覚書を締結。	5・30	東北6県の代表的な夏祭りが集結した「東北六魂祭2015秋田」を秋田市で開催。
	2・25	秋田県市町村未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修をしていた屋内温水プールが完成し、水中運動教室モデル事業を開始。	8・16	夏の甲子園で秋田商高が80年ぶり8強。
	3・12	平成27年度当初予算決定。(一般会計58億800万円)	11・10	11か国によるTPP交渉が大筋合意。
	3・31	大川小が閉校。		
	4・1	五城目小と大川小が統合。	11・24	県のPRキャラクター「んだッチ」が活動を開始。
	4・3	県議会議員選挙が執行。南秋田郡選挙区で平山晴彦さん(西磯ノ目)が無投票当選。		<国内外>
	5・1	クラウドファンディングによるシェアビレッジ町村が開村。	9・19	自衛隊の海外での武力行使に道を開く安全保障関連法が成立。
	5・3	朝市振興の一環として、定期市以外の第1・第3日曜日臨時朝市を開設。	9・19	日本がラグビーW杯初戦で南アフリカに歴史的勝利。
	7・1	地域おこし協力隊として小熊隆博(大川出身)さんが着任。		
	7・2	湖東3町商工会が、五城目町、八郎潟町、井川町3町共通のプレミアム付き商品券を発行。	10・5	マイナンバー制度が運用開始。
	8・6	第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会を開催。	10・5	大村智氏と梶田隆章氏の日本人科学者2人がノーベル賞。
	8・12	交通死亡事故ゼロ、1000日を達成。		
	9・24	秋田銀行と空き家の利活用等に関する地方創生連携協定を締結。自治体と金融機関の取り組みは県内初。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 27年 (2015)	10・1	県中央部の本町など3市3町1村と秋田信用金庫、運営・管理をするフューチャーベンチャーキャピタル株式会社によりあきた創業サポートファンドを設立。 国勢調査実施。インターネット回答も可能。(人口9,463人、男4,392人、女5,071人)		
	10・5	マイナンバー制度がスタート。		
	10・18	広域五城目体育館で町合併60周年記念NHKのど自慢を開催。		
	10・21	新消防庁舎が下山内に完成。		
	10・28	薬師山の秋田朝日放送五城目テレビ中継放送所が撤去。		
	11・1	武田和栄(高崎)さんが副町長に再任。 町ホームページをリニューアル。		
	11・3	町制施行60周年記念式典を開催。渡邊忠陸さん(広ヶ野)と猿田由男さん(館町)を町功労者として表彰。橋本五郎さん記念講演、天地人ミニライブを行う。「60周年記念誌あゆみ」を発行		
	11・6	国道285号中津又道路が完成。		
平成 28年 (2016)	1	雇用創出や地域活性化の指針となる五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略と2060年の町の人口目標を定める五城目町人口ビジョンを策定。	5・20	<秋田県> 鹿角市でクマに襲われ4人が死亡。
	2・4	県立五城目高2年生と明治大学生が連携し、15年後の未来を考えるワークショップを開催。 内藤ハリエさん(いこいの里)が100歳に。	8・3	金田勝年衆議院議員が法務大臣に就任。
	2・6	加藤チョ子さん(広青苑)が100歳に。	8・16	豪風旭関(北秋田市出身)に県民栄誉賞。
	2・25	筒井トミエさん(昭辰町)が100歳に。	11・30	角館祭りのやま行事や土崎神明社の曳山行事、花輪祭の屋台行事の3つがユネスコの無形文化遺産に登録。
	3・14	平成28年度当初予算決定。(一般会計54億7,300万円)		
	3・17	町地域防災計画を修正。		
	3・27	町議会議員選挙を執行。現職12人、新人2人の14人(男12人、女2人)が当選。投票率は75・01%。	3・26	<国内外> 北海道新幹線が開業。
	3・30	近所に商店がなくなり、買い物が不便になった内川浅見内地区に、お互いさまスーパーみせっこあさみないがオープン。	5・27	オバマ米大統領、現職米大統領で初の広島訪問。
	4・1	国保税の税率を平成13年度以来、16年ぶりに改正。 川島タツさん(水沢)が100歳に。	6・23	英国が国民投票でEU離脱を決定。
	4・4	改選後初の臨時町議会が開かれ、第36代議長に小林正志さん、副議長に佐藤重信さんが就任。	8・21	リオデジャネイロ五輪で、日本代表選手団が過去最多41メダルを獲得。
	4・10	朝市が日曜日と重なる日はごじょうめ朝市plus+として開催。	10・18	消費税率10%への引き上げを2017年4月から19年9月に再延期。
	5・25	チャレンジデー2016に6,354人が参加。過去最高の参加率63・7%で金メダルを獲得。対戦相手の岩手県軽米町に勝利。		
	7・10	第24回参議院議員通常選挙。町の投票率は64・16%。		
	8・15	全町盆踊り大会を中央線で開催。		
	8・21	250人の町民が参加し、県防災訓練を開催。		
	8・31	敬老福祉の集いを開催。町の70歳以上は3,301人。		
	9・1	町のふるさと納税(ふるさと愛郷基金)制度を刷新。返礼品を拡充し、クレジットカード決済が可能に。		
	9・4	第32回全町体育祭を開催。町村町内会が優勝。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 28年 (2016)	10・2	第3回秋田市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！で町チームが町の部第3位入賞。		
	10・3	町住民生活課でパスポートの申請・受け取りを開始。		
	10・5	改正地方教育行政法に基づく新教育長に、畑澤政信さん(矢場崎)が就任。		
	10・26	1,098人が参加した五城目朝市500年記念マラソンを開催。		
	10・27	町総合発展計画策定諮問委員会を開催し、後期計画などを諮問する。		
	11・3	山平秋明さん(新町)と佐藤成孝さん(雀館)、故・渡邊靖彦さん(小池町)を町功労者として表彰。		
	11・24	町総合発展計画策定各地区懇談会を開催。(～30日)		
平成 29年 (2017)	2	町総合発展計画後期基本計画を策定。		<秋田県>
	2・19	町長選挙を執行。第17代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。	3・6	北朝鮮が、弾道ミサイル4発を発射し、男鹿沖に落下。
	3・1	町中央公民館が文部科学大臣表彰。		
	3・12	平成29年度当初予算決定。(一般会計51億3,700万円)	4・1	県人口は87年ぶりに100万人を割り、99万9636人。
	3・31	伊藤ハルノさん(町村)が100歳に。		
	4・1	国民健康保険税を改正。 町の全水道事業を経営統合。 地域おこし協力隊に渡邊幸徳さん(新潟県出身)が着任。	7・22 ～23	記録的大雨で雄物川や県内の25河川が氾濫して甚大な被害。
	4・11	南秋地域公共交通活性化協議会が設置。	9・9	第30回全国健康福祉祭あきた大会「ねんりんピック秋田2017」を開催。
	5・15	地域おこし協力隊に三輪卓護さん(埼玉県出身)が着任。		
	6・12	6月議会で、渡邊町長が五城目小建設予定地を雀館運動公園内と報告。	12・3	サッカーのブラブリッツ秋田がJ3で初優勝。
	7・16	梅雨前線による豪雨災害が発生し大きな被害。(～22日・23日)	12・17	バドミントンスーパーシリーズ女子ダブルスで米元小春、田中志穂組(北都銀行)が初優勝。
	7・21	新たに選任された農業委員の初総会を開催。		
	8・1	子育て支援センターこどもの木を開設。		<国内外>
	8・24	豪雨災害による大きな被害が発生。(～25日)	1・20	ドナルド・トランプが米第45代大統領に就任、共和党政権が発足。
	9・2	五城目一中創立70周年記念五中祭を開催(11月2日、海上自衛隊大湊音楽隊記念演奏会。11月11日、元祖爆笑王先輩の記念講演)	5・9	韓国大統領罷免、文在寅政権発足。
	10・22	衆議院議員総選挙を執行。町の投票率(小選挙区)は60.63%。	7・7	国連、核禁止条約を122か国・地域の賛成多数により採択。
	10・30	橋本芳子さんから木彫像「希ねがい(文化功労者・橋本堅太郎さん作)」の寄贈を受け除幕。	9・9	陸上男子・桐生祥秀が日本選手初の100m 9秒台を達成。
	11・1	広報ごじょうめ1000号を発行	10・23	衆院選で自民大勝、民進が分裂。
	11・3	佐々木憲夫さん(長町)を町功労者として表彰。		
	11・20	本町が総務大臣表彰。		
	11・26	久保で火災。3人が亡くなり、住宅200平方mが全焼などの被害。		
12・3	伊藤良藏さん(広青苑)が100歳に。			
12・4	本間カネノさん(館越)が100歳に。			
平成 30年 (2018)	1・10	嶋崎カツヨさん(下樋口)が100歳に。		<秋田県>
	1・28	町体育協会創立60周年記念式典を開催。	8・21	金足農高が甲子園で準優勝。県勢103年ぶりの偉業。
	2・17	一般社団法人日本自動車連盟(JAF)秋田支部と本町が「観光振興に関わる協定」を締結。	11・29	来訪神行事「男鹿のナマハゲ」がユネスコ無形文化遺産登録。
	2・25	石川リエさん(水沢)が100歳に。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 30年 (2018)	3・12	平成30年度当初予算決定。(一般会計52億1,100万円)	5・31	県民会館は令和3年度末に完成予定の文化施設建設のため閉館。 ＜国内外＞ 平昌五輪で日本代表選手団が最多メダルを獲得。 米朝が史上初の首脳会談。 オウム松本元死刑囚らの刑執行。 日産ゴーン会長を逮捕。 米国抜きTPP11が発効。
	3・25	伊藤喜助さん(北北口)が100歳に。		
	4・1	町クリーンセンターを廃止し、本町のし尿や浄化槽汚泥の処理を八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の湖水苑へ委託。		
	4・7	道の駅悠紀の国五城目がリニューアルオープン		
	4・29	みちのく溪流釣り大会in馬場目川2018が開催。近建作さん(横手市)が大会新記録(3匹の合計100.5㌔、イワナ46.5㌔)で優勝。		
	5・8	交通死亡事故ゼロ2000日を達成。		
	5・18	記録的大雨により町内全域で被害が発生。18日の町内の24時間降水量は150.5㌔、10分間の最大降水量は9.5㌔、1時間の最大降水量は36㌔となり、それぞれ5月の値として観測史上最大。		
	5・30	チャレンジデー2018が開催。本町は8,180人が参加し、過去最高の参加率(85.9%)を記録。対戦相手の北海道新得町にも勝利。		
	7・28	英語指導助手(A L T)のブライス・アシュリンさんが任期を満了し退任。		
	8・6	新しいA L Tにアメリカ出身のテレンス・ジェームズ・サンチェズさんが着任。		
	8・15	きゃどっこまつり2018が開催。ステージイベントにダンサーのK O T A N Gさん(北北口出身)とラッパーの羅漢さん(岩野)、マジシャンのミスター北さん(築地町出身)が出演。		
	9・16	初となる消防フェアーを開催。子どもたちが消防士の活動を体験。		
	9・30	ラッパーの羅漢さんが町観光物産R R大使に就任。		
	9・30	3年ぶり9回目の高性寺ジャズインプレッションが朝市ふれあい館で開催。		
	10・1	町循環型コミュニティバスきゃどっこ号の試験運行が開始。運行を前に五城目バスターミナルで出発式を開催。(運行は翌年6月30日まで)		
	10・26	県道秋田八郎潟線町村バイパスが開通。		
	11・1	五城目森林組合設立60周年記念式典が開催。		
	11・3	一関隼一さん(久保)を町功労者として表彰。		
	12・18	町の地方創生の取り組みが国から優良事例として認められ丑田香澄さん(紀久栄町・元地域おこし協力隊)が首相官邸で事例発表を行う。		
平成 31年 (2019)	2・17	冬の朝市あったか鍋まつりに1万人が来場。	1・22	＜秋田県＞ 元関脇豪風(北秋田市出身)が現役引退。 イービスアショア適地調査報告書にずさんなデータ記載。 吉田輝星投手(日本ハム)がプロ初先発・初勝利。 ナガマツペア(北都銀行)、日本勢初のバドミントン世界選手権世界V2を達成。
	3・12	平成31年度当初予算決定。(一般会計56億5,100万円)		
	4・1	防災行政無線の本格運用を開始。		
	4・1	子育てクーポンの支給を開始。		
	4・1	町役場庁舎敷地内の禁煙を実施。		
	4・7	県議会議員選挙を執行。南秋田郡選挙区で鈴木真実さん(井川町)が初当選。		
	4・20	7年ぶりとなるさくらまつりを雀館公園で開催。羅漢さん、ミスター北さんが出演。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和元年 (2019)	5・1	新元号令和時代が始まる	9・7	天皇皇后両陛下が全国豊かな海づくり大会へのご臨席のためご来県。
	5・29	チャレンジデー2019が開催。本町は7,223人が参加し、参加率77 <small>パーセント</small> を記録。	11・3	元東大学長の佐々木毅氏(美郷町出身)に文化勲章。
	6・17	五城目一中野球部が男鹿市潟上市南秋田郡中学校総合体育大会で優勝し、31年ぶりとなる全県出場を決める。		<国内外>
	6・29	町消防団の再編後初となる町消防訓練大会を実施。小型ポンプ操法、規律訓練の部の両方で第10・11分団(浅見内、黒土、湯ノ又、小倉)が優勝。	3・21	日米通算4367安打のイチローが引退。
	7・1	予約式乗合タクシーまちなか線の試験運行が開始(12月31日で終了)。	5・1	天皇陛下が即位。「令和」に改元。
	7・29	8月2日までの日程で、第46回日独スポーツ少年団同時交流が本町で行われ、ドイツのシュレスヴィヒ=ホルシュタイン州からの派遣団9人が交流。	6・30	米大統領、初の北朝鮮入り。正恩氏と板門店で首脳会談。
	8・6	五城目小新校舎の工事に着手。	9・20	ラグビーW杯日本大会アジア初開催、日本8強入り。
	8・15	気温が本町の観測史上最高となる38.1度を記録。 きゃどっこまつり2019が開催。町内外から参加した150人と富津内出身のヒップホップダンサー・K O - T A N Gさんらがフラッシュモブを披露。	10・1	消費税10 <small>パーセント</small> に、食料品などに軽減税率導入。
	9・6	町民センターで、千代田区との姉妹提携30周年記念式典を開催。両自治体の関係者ら117人が出席し、今までの歩みを振り返り、さらなる発展を誓い合う。	10・9	ノーベル科学賞に吉野彰氏。
	9・27	五城目小新校舎を建設する株式会社長谷駒組による、改築工事安全祈願祭が実施。	11・23	ローマ教皇が38年ぶり来日。核兵器の廃絶を訴える。
	10・1	自治体の枠を超えて連携して運行する県内初の五城目町、八郎潟町、大潟村の3町村間を結ぶ南秋地域広域マイタウンバスの運行が開始。		
	10・7	本年9月20日に交通死亡事故ゼロ2,500日を達成し、県知事から表彰状、県警察本部長から顕彰状が贈られる。		
	10・9	最新の高度救命処置用資器材を搭載した町消防本部の高規格救急車の運用を開始。		
	10・13	当町が防衛大臣から防衛協力功勞の感謝状の贈呈を受ける。台風19号に伴い、町消防本部緊急援助隊7人を宮城県丸森町に派遣し、救助活動などを実施。(～16日)		
	10・20	佐々木トミエさん(西磯ノ目)が100歳に。		
	11・3	佐藤一義さん(中村)を町功勞者として表彰。		
	11・6	登下校の見守りや防災訓練への参加など内容を拡充し、秋田中央、五城目、内川の3郵便局と包括的連携協定を再締結。		
	11・10	町芸術文化協会創立50周年記念式典を開催。		
	11・22	宮城萬治郎さん(蓬内台)が100歳に。		
	11・30	湯ノ又、浅見内、黒土、小倉の内川地区の4町内がイルミネーションの点灯式を開催。		
令和2年 (2020)	1・14	本町で建設ICT研修に取り組むICT東北推進協議会が国土交通省i-Construction大賞地方公共団体等の部門で優秀賞を受賞。	4・14	<秋田県> 県人口減少率1.48 <small>パーセント</small> で7年連続で全国最高。県の人口は96万6千人。
	2・7	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのワークショップを開催。	6・24	秋田市新屋地区へのイージス・アショアの配備計画撤回を国家安全保障会議で決定。
	3・9	令和2年度当初予算決定。(一般会計67億4,500万円)		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和 2年 (2020)	3・29	町議会議員選挙を執行。現職11人、新人3人の14人(男11人、女3人)が当選。投票率は70.12%。	9・16	秋田県出身初の菅義偉内閣総理大臣が誕生。
	4・1	八郎潟町と森山地区、大川地区を対象とする乗合タクシーの試験運行を開始。		<国内外>
		第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタート。	3・24	東京オリンピック・パラリンピックの1年延長が決定。
	4・3	改選後初の臨時町議会が開かれ、第37代議長に石川交三さん、副議長に伊藤正春さんが就任。	4・16	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全都道府県に緊急事態を宣言。
	4・8	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。	9・16	安倍内閣が総辞職、歴代最長の在職期間3188日で終止符。
	4・16	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国に緊急事態宣言が発令。		
	5・14	新型コロナウイルス感染症対策に伴う子育て世帯の負担軽減を図るため、町独自の臨時子育て世帯応援給付金を支給。		
	5・16	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町独自で町民に2枚ずつマスクを支給。		
	5・20	新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として、町民に一律10万円を給付する特別定額給付金の給付を開始。		
	6・1	地域おこし協力隊に張梨香さん(東京都出身)が着任。集落支援員に伊藤信子さん(町村)が着任。		
	6・18	県石油商業組合南秋支部と本町が災害時の石油類燃料供給の協定を締結。		
	7・20	新たに選任された町農業委員の初総会を開催。		
	7・30	英語指導助手のテレンス・ジェームズ・サンチェズさんが任期を満了し、退任。		
	8・1	全町民にオール五城目応援商品券を支給。学生等応援給付金事業を開始。		
	8・1	小玉ユミさん(下高崎)が100歳に。		
	9・25	伊藤キクノさん(落合)が100歳に。		
10・1	国勢調査を実施。			
10・25	小森繁三郎さん(広青苑)が100歳に。			
11・2	大石壽信さん(下山内)を町功労者として表彰。			

【表紙絵】

館岡栗山作「五城目の秋」(五城目朝市ふれあい館に展示)町が町制を施行した昭和30年代の町の中心部と森を描いています。

館岡栗山(たておかりつざん)

本名は館岡豊治。明治30(1897)年9月9日、馬川村高崎(現在は五城目町)生まれ。秋田師範学校を中退。近藤浩一路に師事。昭和8年「台温泉」が院展で初入選。昭和12年「雨後」が横山大観賞受賞。安田鞠彦に師事。院展に初入選以来連続30回を数え、昭和43年、特待・無鑑査となる。昭和26年、一日市町(現在は八郎潟町一日市)に湖畔時報社設立。昭和37年、秋田県文化功労者。昭和45年、勲五等双光旭日章受章。昭和53年10月16日81歳で死去。

【参考文献】

秋田魁年鑑 秋田魁新報社
五城目町史
躍進五城目町合併30年記念誌あゆみ
躍進五城目町合併35年記念あゆみ
五城目町合併40周年記念誌飛翔21世紀へ
町村合併45周年記念五城目町45年のあゆみ
町村合併55周年記念五城目町55年のあゆみ
五城目町町制施行60周年記念誌あゆみ
広報ごじょうめ



町の鳥「うぐいす」



町の木「すぎ」



町の花「やまゆり」

五城目町65年のあゆみ

発行日 令和2年10月31日

発行 秋田県五城目町

〒018-1792

秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目一丁目1-1

TEL.018-852-5342 FAX.018-852-3151

町ホームページ

<https://www.town.gojome.akita.jp>

企画・編集 五城目町まちづくり課

題字 石川昭一

印刷 湖東印刷所



五城目町

